

笑劇で施設利用高齢者を元気にする事業

浅間台笑劇研究部

活動状況報告書

1 事業名称 笑劇で施設利用高齢者を元気にする事業

2 実施主体

- 団体名： 浅間台笑劇研究部
従事者数： 24名
団体概要： 千葉県生涯大学校浅間台教室地域活動学部 37期生を中心平成28年1月に発足した団体であり、高齢者施設で主に笑劇公演のボランティア活動を行い、社会福祉に貢献することを目的とした団体です

3 事業の実施内容

I 高齢者施設でのボランティア公演

日付	作業内容
2017/4/12	ひまわりの丘 公演
2017/5/25	松寿園 公演
2017/6/18	サニーライフ 公演
2017/6/19	なでしこ 公演
2017/7/31	松寿園 公演
2017/8/22	あすなろ 公演
2017/9/2	ボンセジュール 公演
2017/9/10	陽光苑 公演
2017/10/15	サニーライフ 公演
2018/1/25	ひまわりの丘 公演
2018/3/14	デイケアセンターさくらデイサービスさくら公演

II 新プログラム（脚本）の開発と習得

日付	作業内容
2017/4	構想 ドラフト作成
2017/5	部員で検討・最終シナリオ完成
2017/6～	キャスティング・音楽編集・大小道具 衣装作成・稽古

III 定例会（稽古）の継続

日付	作業内容
2017/4～2018/3	総会・定例会を22回実施

4 事業成果について

(1) 事業目的の達成について

- 計画時の事業の目的
笑劇(Musical)の公演により、施設利用高齢者を元気にすること
- 達成状況
10回の公演を通して計画時の事業の目的は十分達成できた
各施設とも割当の1時間に前座でお笑いヨガ パルーンアート 詩吟を、メインとして笑劇公演を行った
非常に反応がよく楽しんで頂いたことが実感できた

(2) 事業課題の解決について

この活動を通じて「松戸市総合計画基本構想」の実現の一翼を担えた
具体的な課題の達成状況は下表の通り

事業の課題	評価対象	コミット	実績
多く公演する	公演回数	6回以上	11回
多くの人に見てもらおう	延べ観客数	200名	449名
新プログラムの開発	開発数	1本	1本
練習を多く行う	練習回数	12回	18回

5 今後の事業展開

- 来年度も松戸市当制度のスタート助成事業に同活動内容で採択されたこともあり、来年度は基本的には今年度と同じ活動を継続する
- 継続することにより、多くの施設で活動が定着して、その利用高齢者が公演を心待ち頂けるようにする
- 毎年1本の新プログラム開発を継続する
- その先の事業展開としては
 - ① 一度に多くの高齢者に笑いで元気を与える機会（一般のホールでの公演会）を企画する
 - ② 笑劇以外の出し物を数多く持つ
 - ③ 部員を増やす

収支決算書

【事業費収入額(収入)】

区分	科目	予算額	決算額	差引額	積算内訳
団体	部員年会費	¥ 31,000	¥ 26,677	¥ 4,323	対象事業費の一部及び対象外経費を団体の会計より拠出
	事業収入	¥ 0	¥ 10,000	¥ ▲10,000	施設よりの謝礼金 ¥5,000. ×2回
	自己資金の合計額 (A)	¥ 31,000	¥ 36,677	¥ ▲5,677	
市	市民活動助成金 (B)	¥ 100,000	¥ 100,000	¥ 0	←精算額
合計額 (C) = (A+B)		¥ 131,000	¥ 136,677	¥ ▲5,677	

【事業費の支出額(支出)】

	科目	予算額	決算額	差引額	積算内訳
助成金の交付対象経費	消耗品費	¥ 30,000	¥ 81,348	¥ ▲51,348	舞台道具製作費
		¥ 50,000	¥ 9,827	¥ 40,173	舞台衣装代
		¥ 11,000	¥ 7,726	¥ 3,274	平成29年度版シナリオ制作 プ リントーインク代
		¥ 5,500	¥ 1,700	¥ 3,800	平成29年度音楽DL代 平成29年度音楽用CD代
		¥ 6,000	¥ 5,890	¥ 110	バルーンアート関連費
	運搬費	¥ 16,000	¥ 10,000	¥ 6,000	大道具等施設往復の運搬
	対象経費の合計(D)	¥ 118,500	¥ 116,491	¥ 2,009	
(その他経費)	備品	¥ 6,500	¥ 0	¥ 6,500	音楽編集ソフト購入せず
	使用料及び賃借料	¥ 6,000	¥ 11,510	¥ ▲5,510	工作場所、打合せ場所、練習場所
	その他	¥ 0	¥ 8,676	¥ ▲8,676	領収書不備分他
	その他経費の合計額 (E)	¥ 12,500	¥ 20,186	¥ ▲7,686	
合計額 (F) = (D+E)		¥ 131,000	¥ 136,677	¥ ▲5,677	

【チェック項目】

- 1 助成金 (B) が、対象となる経費 (D) 欄の90%以内であること。
- 2 自己資金 (A) 欄が、「対象経費 (D) 欄の10%以上」であること。
- 3 助成金 (B) が、スタート助成の場合は1事業あたり10万円以内、ステップアップ助成の場合は1事業あたり30万円以内であること。
- 4 対象経費については、必ず証拠書類を添付すること。

精算額	¥ -
-----	-----

団体名

浅間台 笑劇研究部

代表者氏名

部長 砂永 宏

収支内訳書

【事業費の収入額】

科 目		金 額	内 訳	摘 要
団 体	部員年会費	¥ 26,677		団体の会計より拠出
	事業収入	¥ 10,000	5,000円*2回	謝礼金
市	市民活動助成金	¥ 100,000		
合 計 額		¥ 136,677		

【事業費の支出額】

科 目		金 額	支出内訳	説明事項（用途など）
助成金の交付対象経費	消耗品費	¥ 81,348		舞台道具製作費（大型模造紙、絵具、桐集成材等板類、井草、等31点）
		¥ 9,827		舞台衣装代（布、お面、等10点）
		¥ 7,726	1,215円*1個 6,511円*1個	プリンターインク代
		¥ 1,700	250円*6曲 200円*1曲	音楽DL CD代
		¥ 5,890	1,620円*1回 1,640円*1回 2,630円*1回	バルーンアート関連費（風船、目玉シール）
	運搬費	¥ 10,000	10,000円*1回	大道具等運搬費 1年分
		¥ 116,491		
その他経費	備品	¥ 0		音楽編集ソフト 部員ソフト利用のため購入せず
	使用料及び賃借料	¥ 11,510		作業場所、打合せ場所、練習場所、等16回
	その他	¥ 8,676		領収書不備分及び印刷代、等11点
	その他経費の合計	¥ 20,186		
合 計 額		¥ 136,677		

まつどでつながるママちから事業

まつど一時保育ネットワーク

活動状況報告書

1 事業名称 まつどでつながるママちから事業

2 実施主体

- 団体名： まつど一時保育ネットワーク
- 従事者数： 27名
- 団体概要： 家庭で小さい子どもを育てている女性が、母親としてだけでなく一人の社会人として学習活動の場を持ち、社会参画していくための支援を一時保育を通して行っている

3 事業の実施内容

※ 実施内容について、事業毎に記載してください。

I 5・6・7月事業の実施～あそびのひろば&シティーミニコンサート～

	作業内容
4月12日	生涯学習推進課 シティーミニコンサート引率の件打合せ
4月19日	スタッフ打合せ（年間予定、5・6・7月事業打合せ）
4月20日	5・6・7月チラシの印刷・市内各所配布依頼
4月24日	月間ハロー6月号（5/22発行）掲載依頼
5月8日	スタッフ打合せ・準備（5/16開催内容）
5月16日	5月あそびのひろば開催 ゆうまつど 参加者15組32名
6月7日	スタッフ打合せ・準備（6/21開催内容）
6月16日	まつどあ掲載依頼・準備（6/21開催内容）
6月21日	6月あそびのひろば開催 ゆうまつど 参加者5組12名 シティーミニコンサートへ行こう開催 市役所議事場 参加者2組3名
7月12日	スタッフ打合せ・準備（7/19開催内容）
7月19日	7月あそびのひろば開催 ゆうまつど 参加者7組15名 シティーミニコンサート 市役所議事場 参加者4組8名

II 8月開催事業の実施～親子クッキング～

日付	作業内容
6月21日	夏休み特別企画親子クッキングを事業計画に追加
7月2日	中央保健センター管理栄養士打合せ チラシ内容決定
7月6日	チラシの印刷・近隣地域配布依頼
8月1日	スタッフ打合せ
8月9日	8月親子クッキング開催（ピザ作り）中央保健センター

	参加者 9 組 21 名 一時保育 1 名利用
--	-------------------------

Ⅲ 9・10月開催事業の実施

9月～子ども読書推進センターへ行こう～

10月～あそびのひろば&プラネタリウムへ行こう～

日 付	作 業 内 容
5月19日	子ども読書推進センター 親子絵本講座依頼
5月30日	10月分子ども読書推進センターへ行こう→プラネタリウムへ行こうに変更依頼・団体予約
7月19日	9/1 広報まつど掲載依頼 (9月開催分)
8月3日	チラシ内容確認 (子ども読書推進センター職員)
8月9日	9・10月チラシの印刷・市内各所配布依頼
9月13日	スタッフ打合せ
9月20日	9月子ども読書推進センターへ行こう開催 子ども読書推進センター 参加者 11 組 23 名
	スタッフ打合せ (10/11 開催内容)
10月6日	スタッフ打合せ (10/11 開催内容)
10月11日	10月あそびのひろば開催 ゆうまつど 参加者 7 組 15 名 プラネタリウムへ行こう開催 市民会館 参加者 16 組 32 名

Ⅳ 11月開催事業の実施～あそびのひろば～

日 付	作 業 内 容
9月19日	11/1 広報まつど掲載依頼
9月22日	スタッフ打合せ
10月6日	チラシ印刷・市内各所配布依頼
10月17日	スタッフ打合せ
11月8日	あそびのひろば開催～手形・足形アート～ ゆうまつど 参加者 75 組 158 名

Ⅴ 12月開催事業の実施～あそびのひろば&シティーミニコンサートへ行こう～

日 付	作 業 内 容
10月23日	12/1 広報まつど掲載依頼
11月13日	チラシ印刷・市内各所配布依頼
11月22日	スタッフ打合せ
11月26日	まつどあ掲載依頼
11月30日	スタッフ打合せ

12月8日	あそびのひろば開催 ゆうまつど 参加者 38組 81名 シティーミニコンサートへ行こう開催 市役所議事場 参加者 7組 17名
-------	---

VI 1月開催事業の実施～あそびのひろば&プラネタリウムへ行こう～

日付	作業内容
10月12日	プラネタリウムへ行こう企画追加
11月13日	チラシ印刷
11月30日	チラシ市内各所配布依頼
1月10日	スタッフ打合せ
1月17日	あそびのひろば開催 ゆうまつど 参加者 6組 14名 プラネタリウムへ行こう開催 市民会館 参加者 16組 36名

VII 2月開催事業の実施～生涯学習推進課によるパートナー講座～

日付	作業内容
1月12日	チラシ内容確認 (生涯学習推進課)
1月15日	チラシ印刷
1月17日	あそびのひろば・プラネタリウムへ行こうにて広報活動
1月19日	チラシ追加印刷・まつどあ掲載依頼
1月22日	チラシ近隣地域配布依頼
2月20日	スタッフ打合せ
2月21日	パートナー講座開催 ゆうまつど 参加者 16組 36名

4 事業成果について

(1) 事業目的の達成について

- 遊びのひろばでは多くの親子が楽しくすごしてくれた。
- 市で開催されているものに一緒に参加・利用し、よさを伝えられた。
- 情報提供ができた。
- 仲間づくりというところまではできなかったが、その場で思いを共有したり話をする事ができた。
- 親子で遊ぼう…年間 155組の参加
- みんなで行こう…年間 65組の参加 で目標達成となった。

(2) 事業課題の解決について

松戸市には親子にとってやさしい取り組みがあることを知ってもらえるきっかけになった。
参加して得た体験、情報を通してお母さんの一人ではない安心感を与えられたと思う。

5 今後の事業展開

松戸市の施設利用（プラネタリウム）はまたやってほしいとの声が多かった。お母さんたちの声も聴くことができた。

松戸駅周辺ではなく、行きやすい自分の地域でもやってほしいとの声も聴くことができた。

その声を生かす活動を考えていけたらと思う。

収支決算書

【事業費収入額(収入)】

区分	科目	予算額	決算額	差引額	積算内訳
団体	団体拠出金	¥ 23,580	¥ 38,674	¥ ▲15,094	対象事業費の一部及び対象外経費を団体の会計より拠出
	事業収入	¥ 7,000	¥ 7,200	¥ ▲200	700円×6組、1,000円×3組(8月調理実習)
				¥ 0	
				¥ 0	
	自己資金の合計額 (A)	¥ 30,580	¥ 45,874	¥ ▲15,294	
市	市民活動助成金 (B)	¥ 67,400	¥ 67,400	¥ 0	←精算額
合計額 (C) = (A+B)		¥ 97,980	¥ 113,274	¥ ▲15,294	

【事業費の支出額(支出)】

	科目	予算額	決算額	差引額	積算内訳	
助成金の交付対象経費	消耗品費①	¥ 5,000	¥ 7,344	¥ ▲2,344	チラシ印刷用紙 5,500枚	
	消耗品費②	¥ 13,000	¥ 15,179	¥ ▲2,179	折り紙、画用紙、工作用品、ペン、ラミネート用紙等	
	消耗品費③	¥ 7,000	¥ 12,545	¥ ▲5,545	パネルシアター作成材料代、拍子木	
	消耗品費④	¥ 8,000	¥ 3,974	¥ 4,026	絵本	
	消耗品費⑤	¥ 4,000	¥ 4,952	¥ ▲952	CD・工作ガイド本	
	消耗品費⑥	¥ 2,000	¥ 0	¥ 2,000	交通安全旗、目印旗 (無料でもらえたため)	
	消耗品費⑦	¥ 10,000	¥ 9,880	¥ 120	ジョイントマット64枚	
	印刷代	¥ 17,500	¥ 2,445	¥ 15,055	案内チラシ 製版印刷代	
	行事保険	¥ 2,800	¥ 8,120	¥ ▲5,320	行事保険	
	食糧費	¥ 7,400	¥ 10,439	¥ ▲3,039	調理実習材料費、講師の水、WS参加者用のお茶菓子	
	使用料および賃借料	¥ 5,280	¥ 896	¥ 4,384	5月 会場使用料	
	対象経費の合計(D)		¥ 81,980	¥ 75,774	¥ 6,206	
	(その他対象外経費)	交通費	¥ 10,000	¥ 14,350	¥ ▲4,350	お出かけ5回→準備
交通費		¥ 6,000	¥ 22,702	¥ ▲16,702	広場のみ4回→当日	
使用料および賃借料		¥ 0	¥ 448	¥ ▲448	打ち合わせ、リハーサルの会場使用料	
その他経費の合計額 (E)		¥ 16,000	¥ 37,500	¥ ▲21,500		
合計額 (F) = (D+E)		¥ 97,980	¥ 113,274	¥ ▲15,294		

【チェック項目】

- 1 助成金(B)が、対象となる経費(D)欄の90%以内であること。
- 2 自己資金(A)欄が、「対象経費(D)欄の10%以上」であること。
- 3 助成金(B)が、スタート助成の場合は1事業あたり10万円以内、ステップアップ助成の場合は1事業あたり30万円以内であること。
- 4 対象経費については、必ず証拠書類を添付すること。

精算額	¥ -
-----	-----

団体名 まつど一時保育ネットワーク
 代表者氏名 代表 石井 珠代

収支内訳書

【事業費の収入額】

科目		金額	内訳	摘要
団体	団体拠出金	¥ 38,674		
	事業収入	¥ 7,200	¥ 4,200 ¥ 3,000	700円×6組(8月調理実習) 1,000円×3組(8月調理実習)
市	市民活動助成金	¥ 67,400		
合計額		¥ 113,274		

【事業費の支出額】

科目		金額	支出内訳	説明事項(用途など)
助成金の交付対象経費	消耗品費①	¥ 7,344		チラシ印刷用紙 5,500枚
	消耗品費②	¥ 15,179		折り紙、画用紙、工作用品、ペン、ラミネート用紙等
	消耗品費③	¥ 12,545		パネルシアター作成材料代、拍子木
	消耗品費④	¥ 3,974		絵本
	消耗品費⑤	¥ 4,952		CD・工作ガイド本
	消耗品費⑥	¥ 0		交通安全旗、目印旗 (無料でもらえたため)
	消耗品費⑦	¥ 9,880		ジョイントマット64枚
	印刷代	¥ 2,445		案内チラシ 製版印刷代
	行事保険	¥ 8,120	¥ 7,280 ¥ 840	5.6.7.10.11.12.1.2月(8か月)*30人*28円 9月(1か月)*20人*28円 8月(1か月)*30人*28円<追加>
	食糧費	¥ 10,439		調理実習材料、講師の水、WS時のお茶菓子
	使用料および賃借料	¥ 896		5月 会場使用料
	対象経費の合計	¥ 75,774		
その他経費	交通費	¥ 14,350		準備
	交通費	¥ 22,702		当日
	使用料および賃借料	¥ 448		打ち合わせ、リハーサルの会場使用料
	その他経費の合計	¥ 37,500		
合計額		¥ 113,274		

子どもと高齢者の交流事業

子どもの未来を考える会

活動状況報告書

1 事業名称 子どもと高齢者の交流事業

2 実施主体

■ 団体名： 子どもの未来を考える会

従事者数： 20名

団体概要： 虹の街町会のメンバーを中心に発足し、子どもと高齢者を中心とした大人がお互いに交流したり、ボランティアしあったりすることで、それぞれが自分の存在価値を再確認し、大人には生きがい、子どもには安心が生まれる共同社会を作ることを目的とする。

3 事業の実施内容

I あそびのひろばの実施

日付	作業内容
5月25日	事業企画初回
6月1日	当日のあそびの内容の検討、チラシの準備
6月下旬	東京新聞、J:comに連絡(広報活動)
7月初め	道具の買い出し等の手配
7月10日	チラシの印刷、配布(馬橋小PTA,旭町小教頭先生)
	市役所に配架依頼 教育委員会に後援依頼
7月18日	ボランティア説明会(3名参加)、道具の下ごしらえ
7月20日	最終打ち合わせ(役割分担、会場配置、材料の準備)
	サンプルの作成、当日の道具類の準備
8月1日、8日	あそびのひろばの実施(於馬橋市民センター3F ホール、いつもの遊びに加えてマジックカード、フリスビー、まゆだま転がし等)、反省会(8/1:子ども65名、スタッフ17名 8/8:子ども62名、スタッフ14名 その他保護者各日10名程度付き添いで参加)
8月14日	アンケートのまとめの作成と配布
1月18日	あそびのひろばの内容の検討
2月6日	サンプルを見てあそびを決定
3月初め	市役所に配架依頼 教育委員会に後援依頼
3月初旬	チラシ印刷と配布
3月12日	ボランティア説明会(4名参加)、道具の下ごしらえ
3月15日	最終打ち合わせ(役割分担、会場配置、材料の準備)
3月30日	あそびのひろばの実施(於馬橋市民センター3F ホール、いつもの遊びに加えてマジック、紙皿まわし、紙ホイッスル等)、反省会(子ども82名、スタッフ13名その他保護者13名程度付き添いで参加)

Ⅱ 講演会の実施（6月、9月、11月、2月）

日 付	作 業 内 容
5月9日	市の広報掲載依頼(5月15日号)
5月12日	コープみらい地域クラブニュースへ掲載依頼(6/18分)
5月13日	小金原子ども食堂で顔合わせ
5月中旬	チラシの印刷、配布、 市役所に配架依頼 教育委員会に後援依頼
6月1日	講演会準備品他確認
6月7日	小金原子ども食堂高橋さんと講演会場の下見
6月10日	保育申し込み
6月15日	講演会進行打ち合わせ
6月18日	講演会実施(講師:小金原子ども食堂代表;高橋亮氏、参加者 27名、於馬橋市民センター会議室)
6月下旬	講演会のまとめ作成 市の広報掲載依頼(9月1日号)
7月7日	コープみらい地域クラブニュースへ掲載依頼(9/9分)
7月10日	子すずめ保育園園長先生と面談
8月10日	チラシの印刷、配布 市役所に配架依頼 教育委員会に後援依頼
9月7日	講演会進行打ち合わせ
9月9日	講演会実施(講師:子すずめ保育園園長伊藤未来氏、参加者 21名、於馬橋市民センター会議室)
9月中旬	講演会のまとめ作成 市の広報掲載依頼(11月1日号)
9月19日	市の広報掲載依頼(11月1日号)
10月13日	コープみらい地域クラブニュースへ掲載依頼(11/23号分)
10月18日	小野昭司先生と面談
10月19日	チラシの印刷、配布、次回講演会の講師と内容について確認 市役所に配架依頼 教育委員会に後援依頼
11月16日	講演会進行打ち合わせ
11月23日	講演会実施(講師:前旭町中学校校長小野昭司氏、参加者 19名、於馬橋市民センター会議室)
11月下旬	講演会のまとめ作成 コープみらい地域クラブニュースへ掲載依頼(2/5号分)
1月5日	コープみらい地域クラブニュースへ掲載依頼(2/5号分)
1月18日	市の広報掲載依頼(2月1日号)
1月25日	田中祥隆先生と面談
2月1日	チラシの印刷、配布、次回講演会の講師と内容について確認 市役所に配架依頼 教育委員会に後援依頼

2月16日	講演会進行打ち合わせ
2月17日	講演会実施(講師:前旭町小学校校長田中祥隆氏、参加者 21名、於馬橋市民センター会議室)
2月下旬	講演会のまとめ作成

4 事業成果について

(1) 事業目的の達成について

- あそびのひろばは計画通り、大人と子供の顔合わせや仲良くなるきっかけづくりになり、数値目標も達成できた(昨年より参加数増加 103名→127名、前年比 123%)
- 講演会は参加人数に多少物足りなさも感じたが、少人数だけに対面で聞いたかった事を聞いたという意見もあり、日常生活の中で疑問に思っていたことが解消できたり、そうだったのかという気づきも感じてもらった

(2) 事業課題の解決について

5 今後の事業展開

子どもと高齢者の居場所の定着を目標としていたが、それを必要とする経済的困難な人へのPR・認知させる為の方法としてあそびのひろばはよいきっかけとなった。

あそびのひろばを継続実施することで、当団体の活動に対する主に毎年入れ変わる保護者の認知・信頼を高め、こみかる一むを親が安心・信頼して子供を送り出せる場所にしたい。また講演会では身近なところにある様々な社会問題を今後も取り上げ、生活にすぐに役立つ情報提供の場とする。特に高齢者の居場所活動はニーズが高く、ここにまだつながっていない人の需要も大きいと思われるので、題材として高齢者の福祉や介護等も取り入れていく。

収支決算書

【事業費収入額(収入)】

区分	科 目	予算額	決算額	差引額	積算内訳
団体	団体拠出金	¥ 5,907	¥ 5,178	¥ 729	対象事業費の一部及び対象外経費を団体の会計より拠出
	事業収入	¥ 30,000	¥ 19,900	¥ 10,100	
	自己資金の合計額 (A)	¥ 35,907	¥ 25,078	¥ 10,829	
市	市民活動助成金 (B)	¥ 100,000	¥ 100,000	¥ 0	←精算額
合計額 (C) = (A+B)		¥ 135,907	¥ 125,078	¥ 10,829	

【事業費の支出額(支出)】

	科 目	予算額	決算額	差引額	積算内訳
助成金の交付対象経費	報償費	¥ 55,000	¥ 55,000	¥ 0	外部講師謝礼 講演10,000円*4回 折り紙講師5,000*3回
	消耗品費	¥ 4,231	¥ 22,412	¥ ▲18,181	講演会資料とチラシ・あそびのひろばチラシの紙とインク代
	"	¥ 23,256	¥ 15,219	¥ 8,037	筆記用具、工作用紙、部品など あそびのひろば用文具(のり、ボンド、はさみ、工作用品等)
	食糧費	¥ 4,000	¥ 4,310	¥ ▲310	講師・見守り隊・子ども用お茶
	委託料(託児料)	¥ 24,000	¥ 4,070	¥ 19,930	6月1回のみ使用
	使用料	¥ 10,920	¥ 11,329	¥ ▲409	講演会・あそびのひろば馬橋市民センター使用料
	保険料	¥ 4,500	¥ 0	¥ 4,500	領収書が対象年度外の日付のため対象外経費に計上する
		対象経費の合計(D)	¥ 125,907	¥ 112,340	¥ 13,567
(その他経費)	食糧費	¥ 10,000	¥ 7,278	¥ 2,722	講演会参加者お茶
	保険料	¥ 0	¥ 5,460	¥ ▲5,460	行事保険(子どものみ)
	その他経費の合計額(E)	¥ 10,000	¥ 12,738	¥ ▲2,738	
合計額(F) = (D+E)		¥ 135,907	¥ 125,078	¥ 10,829	

【チェック項目】

- 1 助成金(B)が、対象となる経費(D)欄の90%以内であること。
- 2 自己資金(A)欄が、「対象経費(D)欄の10%以上」であること。
- 3 助成金(B)が、スタート助成の場合は1事業あたり10万円以内、ステップアップ助成の場合は1事業あたり30万円以内であること。
- 4 対象経費については、必ず証拠書類を添付すること。

精算額	¥ -
-----	-----

団体名 **子どもの未来を考える会**
 代表者氏名 **理事長 佐藤 良治**

収支内訳書

【事業費の収入額】

科 目		金 額	内 訳	摘 要
団 体	団体拠出金	¥ 5,178		対象事業費の一部及び対象外経費を団体の会計より拠出
	事業収入	¥ 19,900	73人 (参加人数;6/18 21名 9/9 18名 11/23 16名 2/17 18名)	あそびのひろば参加者費
市	市民活動助成金	¥ 100,000		
合 計 額		¥ 125,078		

【事業費の支出額】

科 目		金 額	支出内訳	説明事項 (用途など)
団 体	報償費	¥ 55,000	10000円×4回、 5000円×3回	講演講師、折り紙講師への謝金
	消耗品費	¥ 22,412		講演会資料とチラシ・あそびのひろばチ ラシの紙とインク代
	〃	¥ 15,219		チラシ・講演会資料・あそびのひろばクラ フト・ぬりえなど印刷用インク、あそびの ひろば文具代
	食糧費	¥ 4,310		講師・見守り隊・子ども用お茶
	委託料 (託児料)	¥ 4,070		講演会時託児 (6月1回のみ)
	使用料及び賃借料	¥ 11,329		講演会 (3回分)・あそびのひろば (3回分) 馬 橋市民センター使用料
	保険料	¥ 0		領収書が対象年度外の日付のため対象外経 費に計上する
対象経費の合計		¥ 112,340		
そ の 他 経 費	食糧費	¥ 7,278		講演会参加者用お茶
	保険料	¥ 5,460		行事保険 (子どものみ)
	その他経費の合計	¥ 12,738		
合 計 額		¥ 125,078		

なつやすみアートひろば事業

NPO法人子どもっとまつど

活動状況報告書

1 事業名称 なつやすみアートひろば事業

2 実施主体

団 体 名： 特定非営利活動法人子どもっとまつど

従 事 者 数： 18 名

団 体 概 要： 1974 年子どもたちに優れた舞台芸術の鑑賞や野外体験活動を行い、子どもの文化と創造に努め健全な育成を図ることを目的に、「松戸子ども劇場」を設立。2001 年より松戸市内の子どもたちの文化環境の向上と社会参画活動の推進を図る目的で NPO 法人格を取得。2008 年「子どもっとまつど」に名称変更をし「芸術文化にふれる体験」「体や五感を使った体験」「自ら企画し実践する体験」「地域での多様な人とのふれあい体験」などの体験交流の場を数多く提供。

3 事業の実施内容

I なつやすみアートひろば事業の実施

日時	作業内容
4 月 10 日	第 1 回プロジェクト会議 参加者：柿ノ木台子ども会 1 人、NPO 法人 Mamacan 1 人、一般ボランティア 3 人、 団体スタッフ 5 人 合計 10 人 議 題：参加者の自己紹介、実施概要、講師の検討、予算の確認、今後のスケジュール確認
5 月 8 日	第 2 回プロジェクト会議 参加者：柿ノ木台子ども会 1 人 NPO 法人 Mamacan 1 人、一般ボランティア 3 人、 団体スタッフ 6 人 合計 11 人 議 題：各講座の内容の検討、財政（協賛広告の検討）、広報について、今後のスケジュール確認
6 月 6 日	第 3 回プロジェクト会議 参加者：柿ノ木台子ども会 1 人、NPO 法人 Mamacan 1 人、NPO 法人ハーモニー 1 人、一般ボランティア 3 人、団体スタッフ 6 人 合計 12 人 議 題：会場の確認、チラシの内容確認、申込フォーム、チラシ配布先の検討、協賛金の進捗確認、
7 月 4 日	チラシの小学校への配架に向け事前作業 一般ボランティア 3 人、団体スタッフ 11 人

7月6日	<p>第4回プロジェクト会議</p> <p>参加者：柿ノ木台子ども会1人、NPO法人Mamacan 1人、NPO法人ハーモニー 1人、一般ボランティア3人、団体スタッフ 7人 合計13人</p> <p>議 題：当日ボランティアの説明会及び会場の下見参加者の動線の確認、今後のスケジュールの確認</p>																									
7月16日	<p>レッツ体験のマッチング説明会</p> <p>応募者11人</p>																									
8月4日	<p>レッツ体験の参加者に向けオリエンテーション</p> <p>参加：ボランティア10人 団体スタッフ1人</p> <p>内 容：団体概要 ボランティアの心得 なつやすみアートひろばの趣旨とスタッフの役割</p>																									
8月8日	<p>第5回プロジェクト会議</p> <p>参加者：柿ノ木台子ども会1人、NPO法人Mamacan 1人、NPO法人ハーモニー1人、一般ボランティア3人、団体スタッフ7人 合計13人</p> <p>議 題：参加申し込み状況の確認、当日のボランティアの配置、当日の流れの確認。</p>																									
8月14日	<p>進行の確認、</p> <p>参加者：柿ノ木台子ども会1人、NPO法人Mamacan1人、一般ボランティア3人、団体スタッフ7人 合計12人</p> <p>議 題：救護等危機管理の確認など。参加や名簿、持ち物の確認作業 プロジェクトチームの交流暑気払い。</p>																									
8月17日	<p>作業日</p> <p>参加者の名札作成、スタッフ証等の作成作業</p>																									
8月20日	<p>なつやすみアートひろば実施当日</p> <p>時間 午前の部10:30-11:30/発表会11:45~12:15 午後の部13:45-14:45/発表会15:00~15:30</p> <p>対象 小学生</p> <p>7会場で講座を午前、午後で同時開催</p> <table border="1" data-bbox="391 1467 1417 2009"> <thead> <tr> <th rowspan="2">講座名</th> <th rowspan="2">講師名</th> <th rowspan="2">会場</th> <th colspan="2">参加者数</th> </tr> <tr> <th>午前</th> <th>午後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>チョークアートを体験しよう</td> <td>玉井知子</td> <td>まつど市民活動サポートセンター 大会議室</td> <td>17</td> <td>21</td> </tr> <tr> <td>君も今日からダンサーだ</td> <td>宮内大</td> <td>矢切公民館 ホール</td> <td>23</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>「はぺこらあおむし」を作って劇遊びをしよう!</td> <td>掃守純一郎</td> <td>矢切公民館講座室</td> <td>6</td> <td>11</td> </tr> </tbody> </table>				講座名	講師名	会場	参加者数		午前	午後	チョークアートを体験しよう	玉井知子	まつど市民活動サポートセンター 大会議室	17	21	君も今日からダンサーだ	宮内大	矢切公民館 ホール	23	7	「はぺこらあおむし」を作って劇遊びをしよう!	掃守純一郎	矢切公民館講座室	6	11
講座名	講師名	会場	参加者数																							
			午前	午後																						
チョークアートを体験しよう	玉井知子	まつど市民活動サポートセンター 大会議室	17	21																						
君も今日からダンサーだ	宮内大	矢切公民館 ホール	23	7																						
「はぺこらあおむし」を作って劇遊びをしよう!	掃守純一郎	矢切公民館講座室	6	11																						

パステルアートを体験しよう!	村井真理	矢切公民館講座室	17	16
自由に楽しく書道を使用	細川建翠	矢切公民館ホール前口 ビー	19	14
作って遊ぼう!とびっきりおもちゃ	荒牧光子	矢切公民館 ホール	17	20
パントマイムを体験しよう	高橋素子	矢切公民館会議室	7	3

付添いの保護者、幼児対応として、まつど市民活動サポートセンターの多目的ホールを会場に下記を企画しました。

○主に母親向けに NPO 法人 Mamacan にブース出展(9 ブース)を依頼した。

○保育スペースを NPO 法人子育てサポートハーモニーに依頼した。

1、 当日参加者

講座参加者	193 人
保護者対応ブース	200 人
Mamacan スタッフ	18 人
ハーモニースタッフ	4 人
柿木台子ども会	3 人
中高生ボランティア	10 人 (レッツ体験)
ボランティアスタッフ	8 人
団体スタッフ	18 人
	454 人

9月13日

ふりかえりの会

参加者：柿ノ木台子ども会 1人、NPO 法人 Mamacan 1人、NPO 法人ハーモニー 1人、一般ボランティア 3人、団体スタッフ 5人 合計 11人

議 題：当日参加者数、講座の参加状況、参加者の声、講座の内容、各会場の様、協賛、次年度のに向けて

4 事業成果について

(1) 事業目的の達成について

- ・子どもたちがアートを体験した後の発表会で成果を共有することで多様なアートがあることを体験した。
- ・社会教育の拠点でもある公民館を中心に子どもたちの「アート体験」の場を子どもたちが参加しやすい夏休みに実施することで矢切でアートの祭典があることが定着してきた
- ・団体のスタッフ以外に近隣の子ども会、NPO、一般のボランティア、レッツ体験の中学生・高校生のボランティアの参加がありこれを機会に新たな関わりも生まれた。
- ・総合福祉会館のロビーを借りて受付を行うことが出来た。
- ・参加率が昨年を上回り 83,9%になった。
- ・講師間の交流もさらに深まった。

(2) 事業課題の解決について

- ・次代を担う子どもたちが豊かな感性や夢を育くむためにアーティストに出会いワクワクドキドキする体験と共有の場が「夏休みに矢切で」が定着するための機会となった。
- ・様々なアーティストによる、言葉だけではない表現やコミュニケーション手法を体験するワークショップ開催することで子どもたちからは「また参加したい」「楽しかった」の声がたくさん聞かれた。
- ・NPO や地域の子ども会、一般のボランティアと企画の段階から協働することで子どもの育ちを地域で支えることの大切さを共有し今後に向けてのネットワークづくりが出来た。
- ・企画を理解し協賛してくれた企業、NPO、個人が28あり今後に向けて協力の体制作りが出来た。

5 今後の事業展開

- ・地域の子どもたちや大人に、芸術体験が「あって当たり前のこと」ということが定着すること。それを実現するためには多くの大人との連帯が必要であることを発信しながら継続した取り組みとしていきたい。
- ・新たなアーティストを発掘することで子どもとの出会いの機会を広げたい。
- ・矢切ともう一か所の地域でも実施していきたい。

収支決算書

【事業費収入額(収入)】

区分	科 目	予算額	決算額	差引額	積算内訳
団体	団体拠出金	¥ 8,400	¥ 76,159	¥ ▲67,759	対象事業費の一部及び対象外経費を団体の会計より拠出
	事業収入	¥ 110,000	¥ 140,100	¥ ▲30,100	参加費500円×193人=96,500円 材料費実費分43,600円
				¥ 0	
	自己資金の合計額 (A)	¥ 118,400	¥ 216,259	¥ ▲97,859	
市	市民活動助成金 (B)	¥ 100,000	¥ 100,000	¥ 0	←精算額
合計額 (C) = (A+B)		¥ 218,400	¥ 316,259	¥ ▲97,859	

【事業費の支出額(支出)】

	科 目	予算額	決算額	差引額	積算内訳
助成金の交付対象経費	報償費	¥ 140,000	¥ 140,000	¥ 0	外部講師謝礼 7人×20000円
	消耗品費	¥ 10,000	¥ 63,721	¥ ▲53,721	紙代、PCインク代、文具、 名刺用紙、講座材料費等
	印刷製費	¥ 25,000	¥ 24,165	¥ 835	チラシ印刷代等 15000枚
	食糧費	¥ 8,400	¥ 10,273	¥ ▲1,873	講師助手お弁当代、 お茶代 500円×20人、 273円
	委託料	¥ 10,000	¥ 10,000	¥ 0	チラシデザイン料
	保険料	¥ 5,000	¥ 0	¥ 5,000	団体が加入している保険を 適用
		対象経費の合計(D)	¥ 198,400	¥ 248,159	¥ ▲49,759
(その他経費)	食糧費	¥ 20,000	¥ 12,500	¥ 7,500	スタッフお弁当代
	交通費	¥ 0	¥ 55,170	¥ ▲55,170	スタッフ交通費
	その他諸経費	¥ 0	¥ 430	¥ ▲430	オリエンテーション会場費
	その他経費の合計額 (E)	¥ 20,000	¥ 68,100	¥ ▲48,100	
合計額 (F) = (D+E)		¥ 218,400	¥ 316,259	¥ ▲97,859	

【チェック項目】

- 1 助成金 (B) が、対象となる経費 (D) 欄の90%以内であること。
- 2 自己資金 (A) 欄が、「対象経費 (D) 欄の10%以上」であること。
- 3 助成金 (B) が、スタート助成の場合は1事業あたり10万円以内、ステップアップ助成の場合は1事業あたり30万円以内であること。
- 4 対象経費については、必ず証拠書類を添付すること。

精算額	¥ -
-----	-----

団体名 特定非営利活動法人子どもとまつど

代表者氏名 理事長 渡辺洋子

収支内訳書

【事業費の収入額】

科目		金額	内訳	積算内訳
団体	団体拠出金	¥76,159		団体の会計より拠出
	事業収入	¥140,100	参加費 500円×193人 材料費 300円×102人 200円×37人 400円×14人	(7講座×午前参加者106人・午後参加者 87人) 300円(チョークアート38人・パステルアート33人・書道31人) 200円(動くおもちゃ37人) 400円(人形14人)
市	市民活動助成金	¥100,000		
合計額		¥316,259		

【事業費の支出額】

科目		予算額		
団体	報償費	¥140,000	7名×20,000円	外部講師(村井真理・高橋素子・玉井知子・掃守純一郎・細川建翠・荒牧光子・宮内大)各20,000円
	消耗品	¥63,721		紙代(800円)・PCインク(5,965円)・名刺用紙(972円)・安全ピン8箱(864円)・紙コップ(120円) チョークアート 300円×25人×2回 パステルアート 300円×20人×2回 書道 300円×20人×2回 動くおもちゃ 200円×20人×2回 人形劇 400円×10人×2回
	印刷製本費	¥24,165	チラシ印刷代等	プリントバック(15,000枚)・印刷代(525円)
	食糧費	¥10,273	お弁当代・お茶代	講師、助手のお弁当代(500円×20人=10,000円) お茶代(273円)
	委託料	¥10,000	10,000円×1回	チラシデザイン料 磯忍 10,000円×1回
	対象経費の合計	¥248,159		
	その他経費	食糧費	¥12,500	500円×25人
スタッフ交通費		¥55,170		プロジェクト会議、会場の下見、当日
その他諸経費		¥430		会場費
その他経費の合計		¥68,100		
計	¥316,259			

パトロールランニング普及事業

パトラン松戸

活動状況報告書

1 事業名称 パトロールランニング普及事業

2 実施主体

- 団体名： パトラン松戸
従事者数： 94名
団体概要： 防犯とランニングを掛け合わせた造語。地域住民で構成され走りながら防犯活動をしている。パトロールランニングとして新しい形の防犯活動を行っている。

3 事業の実施内容

I 合同パトランの実施

日付	作業内容
4月8日、18日	松戸駅、常盤平駅
5月5日、18日	1周年記念式典パトラン、馬橋駅
6月8日、18日	新松戸駅、パトランオリエンテーリング大会
7月8日、17日 18日	松戸新田駅、外環開通記念イベント参加、新八柱駅
8月8日、10日 20日	松飛台駅、パトの日全国一斉合同パトラン、元山駅
9月8日、18日	矢切駅、松戸南部市場
10月8日、18日 21日	南部市場リレーマラソン、北松戸駅、サポートセンターにて講演会
11月8日	馬橋駅、
12月8日、18日	北小金駅、常盤平駅
12月23日	梨香台団地クリスマスイベント（PR）
1月7日、18日	七草マラソン参加でPR、北小金駅
2月8日、18日	東松戸駅、21世紀の森ホール
3月4日、8日 18日、25日	外環道工事区間マラソン大会でPRと救護ランナー 4拠点合同パトラン（松戸駅・新松戸駅・五香駅・南部市場前）、 松戸駅

Ⅱ オリジナルポスター作成

日 付	作 業 内 容
4月～5月	プランミーティング
6月	ミーティング・本部とのすり合わせ
7月	印刷業者に依頼
8月	協力団体、施設への掲示依頼
10月	リアクション集計
11月	リアクション集計

Ⅲ リアクション集計

オリジナルポスターを掲示していただいた団体へのヒアリングを行いました。

・実際の声

「パトランと書いた赤い↑シャツの人を近所でみる。こういうことをやっている団体
なんだとはじめて知った」

「とてもいい活動だ」

「私は走れないけど、応援している」

「面白い」「斬新」「安心」「嬉しい」

「安全のための活動であればどんどん増えてほしい」

「ポスターの写真、みんないい顔している」

「小学校で見守り活動をしているが、小学校近辺も走ってほしい」

「長く続けてほしい」

好意的な声がとても多く、メンバーのモチベーションに繋がると共に認知度アップの
効果も感じる事ができました。

4 事業成果について

(1) 事業目的の達成について

当初、松戸市においてパトロールランニングの認知度アップと普及
を目的としていた。その基準として計画時に下記目標を決めました。

1 合同パトラン参加者 30 人目標→30 人超の合同パトランあり

2 パトラン松戸メンバー 50 人目標→94 名

3 公式パトラン松戸 FB「いいね」数 200 人目標→228 人

ポスター効果や日々継続的な活動により、目標を達成することがで
き、普及という点でも今回の事業は成功したと感じます。

(2) 事業課題の解決について

課題として防犯活動従事者の高齢化、また、町内会や自治会 PTA に頼っている現状の中、地域住民が能動的に活動できるパトランの認知度を上げていくことが最優先でした。日常の合同パトラン、単独パトラン、また今回のポスター作成による反響もあり、松戸においての認知度は以前に比べて飛躍的に伸びたと感じます。

ポスターをみて「是非参加したい」というお言葉から合同パトランへの参加を経てメンバーになった方もいます。

特にメンバーの中で若年層（20代・30代）の方も増えてきました。パトランを通して、自分でも地域貢献できることに気づき、自分たちが松戸市を良くしていくんだという思いも聞きます。これから「継続的な活動」をしていくことが大事なんだと改めて再認識しました。

5 今後の事業展開

今後、パトラン活動を市内全域に拡大実施するにあたって、松戸市をいくつかグルーピングし（現状4つ）各地域ごとにチームを作り、幅広い活動を展開していくこと。

3月18日に4拠点合同パトラン（松戸駅・新松戸駅・五香駅・南部市場前）を実施しました。幅広いパトランをできるだけではなく、選択肢があることで各メンバーの参加ハードルを下げることもできます。

単独パトラン、合同パトラン、4拠点合同パトラン、各種イベントなど工夫をしながらパトラン活動を継続して参ります。

収支決算書

【事業費収入額(収入)】

区分	科 目	予算額	決算額	差引額	積算内訳
団体	団体拠出金	¥ 13,400	¥ 70,100	¥ ▲56,700	対象事業費の一部を団体の会計より拠出
				¥ 0	
	自己資金の合計額 (A)	¥ 13,400	¥ 70,100	¥ ▲56,700	
市	市民活動助成金 (B)	¥ 100,000	¥ 100,000	¥ 0	←精算額
合計額 (C) = (A+B)		¥ 113,400	¥ 170,100	¥ ▲56,700	

【事業費の支出額(支出)】

	科 目	予算額	決算額	差引額	積算内訳
助成金の交付対象経費	ポスターデザイン・印刷製本費	¥ 48,600	¥ 113,400	¥ ▲64,800	(数量150枚・単価378円・他デザイン) × 2種類
	リーフレット・印刷製本費	¥ 64,800	¥ 0	¥ 64,800	領収書紛失のため対象外経費に計上
	対象経費の合計 (D)	¥ 113,400	¥ 113,400	¥ 0	
(その他経費)	リーフレット・印刷製本費	¥ 0	¥ 56,700	¥ ▲56,700	(数量300枚・単価189円・他デザイン費)
	その他経費の合計額 (E)	¥ 0	¥ 56,700	¥ ▲56,700	
合計額 (F) = (D+E)		¥ 113,400	¥ 170,100	¥ ▲56,700	

【チェック項目】

- 1 助成金 (B) が、対象となる経費 (D) 欄の90%以内であること。
- 2 自己資金 (A) 欄が、「対象経費 (D) 欄の10%以上」であること。
- 3 助成金 (B) が、スタート助成の場合は1事業あたり10万円以内、ステップアップ助成の場合は1事業あたり30万円以内であること。
- 4 対象経費については、必ず証拠書類を添付すること。

精算額	¥ -
-----	-----

団体名

パトラン松戸

代表者氏名

代表 竹内 誠二

収支内訳書

【事業費の収入額】

科目		金額	内訳	摘要
団体	団体拠出金	¥ 70,100		対象事業費の一部を団体の会計より拠出
市	市民活動助成金	¥ 100,000		
合計額		¥ 170,100		

【事業費の支出額】

科目		金額	支出内訳	説明事項（用途など）
助成金の交付対象経費	ポスターデザイン・印刷製本費	¥ 113,400	56,700円×2	(数量150枚・単価378円・他デザイン費)×2種類
	リーフレット・印刷製本費	¥ 0		領収書紛失のため対象外経費に計上
	対象経費の合計	¥ 113,400		
その他経費	リーフレット・印刷製本費	¥ 56,700		(数量300枚・単価189円・他デザイン費)
	その他経費の合計	¥ 56,700		
合計額		¥ 170,100		

「認知症に備える」為の啓発活動事業

介護・認知症の家族と歩む会・松戸

活動状況報告書

1 事業名称 「認知症に備える」為の啓発活動事業

2 実施主体

■ 団体名： 介護・認知症の家族と歩む会・松戸

従事者数： 7名

団体概要： 人々の地域との繋がりが希薄になり、超高齢社会の中、独居・高齢者夫婦世帯など親族・家族の繋がりが希薄になってしまった今日、「安心して暮らし続けられる街」にする為に、日常生活圏内に、実践的知識・経験を持った市民を数多く送り出す活動団体です。

3 事業の実施内容

I 認知症パートナー講座の実施

日付	作業内容
4月	会場の確保(今年度は公用扱いにて年度内確保)
4月	チラシポスティング・ハガキ郵送・ミニコミ紙等案内掲載依頼
4月13日木	常盤平市民センター 市民 15人 NPO 法人成年後見なのはな理事・大久保彰
4月19日水	めいと小金原 家族 4組(7人)
5月13日土	ライオンズプラザ中央公園 住民 6人
6月27日火	東部市民センター 市民 8人
8月1日火	東部市民センター 市民 9人
8月18日金	プロムナード北松戸 住民 6人
9月5日火	馬橋市民センター 市民 13人 NPO 法人成年後見なのはな理事講師・大久保彰
10月3日火	六実市民センター 市民 6人
10月29日日	松戸市民活動サポートセンター 9人
12月6日火	馬橋市民センター 市民 16人
1月21日水	高塚団地 住民 6人
	11回 参加者 101人

II 地域パートナー講座・ワークショップの実施

日 付	作 業 内 容
4月	会場確保
4月	チラシ・ハガキの企画及び作成・印刷
	チラシポスティング・ハガキ郵送・ミニコミ紙等案内掲載依頼
5月24日水	聖徳大学 学生・市民 18人
6月6日火	総合福祉会館 市民 9人
7月6日木	聖徳大学 学生・市民 12人
10月3日火	六実市民センター 市民 6人
10月29日日	開智国際大学大学祭 松戸市民 12人
11月10日金	聖徳大学 学生・市民 13人
12月19日火	幸田第2住宅 住民 7人
2月6日火	東部市民センター 市民 6人
2月16日金	聖徳大学 学生・市民 11人
3月6日火	馬橋市民センター 市民 6人
	10回 参加者100人

III 相談会の実施

日 付	作 業 内 容
随時	相談依頼 日時・場所等打ち合わせ
4月9日日	ファミリーユ松戸 住民 5人
4月11日火	松戸コープ(分実) 住民 3人
5月22日土	松戸パレス 住民 5人
6月17日土	ライオンズプラザ中央公園 住民 4人
6月26日火	日神プラスステージ松戸(矢切) 住民3人
7月11日火	千代田アネックスビラ 住民 4人
7月15日土	総合福祉会館 市民 5人
7月24日月	ベルゾーナ新八柱 住民 3人
8月11日火	アベニュー北小金 住民 5人
8月22日火	近鉄六実ハイツ 住民 6人
9月12日火	六高台スクエア 住民 5人
9月26日火	日神プラスステージ松戸(矢切) 住民 6人 高齢者ハンドセラピスト養成教室主宰者 山本千鶴子

9月27日水	松戸パレス	住民	8人
9月28日木	イオン北小金	市民	4人
10月7日土	幸田第2住宅	住民	8人
10月11日水	サイゼリア八柱	市民	6人
	ファミリーユ松戸	住民	6人
10月17日火	六高台スクエア	住民	8人
12月9日火	プロムナード北松戸	住民	6人
12月19日火	高塚団地	住民	5人
1月23日火	ジョウ建設	市民	7人
3月23日金	六高台スクエア	住民	5人
			22回 参加者 117人

IV 交流・相談会・おしゃべり広場の実施

日付	作業内容
随時	相談依頼 日時・場所・内容等打ち合わせ
	チラシポスティング・ハガキ郵送・ミニコミ紙等案内依頼
4月 2日日	三世院 市民 6人
5月 7日日	三世院 市民 5人
5月12日金	ガスト古ヶ崎 市民 4人
6月 6日火	まつど市民活動サポートセンター 市民5人 高齢者ハンドセラピスト養成教室主宰者 山本千鶴子
6月10日月	サイゼリア八柱 市民6人
7月 2日日	三世院 市民6人
7月 3日月	サイゼリア北松戸 市民5人
7月 4日火	まつど市民活動サポートセンター 市民5人
7月 7日金	本土寺 市民15人
8月 1日火	まつど市民活動サポートセンター 市民8人
8月 6日日	三世院 市民6人
8月10日木	サイゼリア八柱 市民5人
9月 5日火	まつど市民活動サポートセンター 市民7人
9月11日木	ガスト古ヶ崎 市民6人
10月 1日日	三世院 市民5人
10月 3日火	まつど市民活動サポートセンター 市民4人
10月20日金	本土寺 市民 9人
11月 5日日	三世院 市民5人
11月 7日火	まつど市民活動サポートセンター 市民13人

高齢者ハンドセラピスト養成教室主宰者 山本千鶴子	
11月 9日木	サイゼリア北松戸 市民3人
11月14日火	グランドめいと松戸 市民4人
12月6日火	まつど市民活動サポートセンター 市民6人
1月16日火	まつど市民活動サポートセンター 市民4人
2月4日日	三世院 市民3人
3月4日日	三世院 市民4人
3月6日火	まつど市民活動サポートセンター 市民5人
	26回 参加者154人

4 事業成果について

(1) 事業目的の達成について

回数的にはほぼ計画通りですが認知症の正しい知識の普及の場に参加して頂いた市民の方は計約400人、訪問（閉鎖的な場）によるご相談約100人。一方で講座（解放された場）参加者101人です。これは少ないです。理由は幾つもありますが150人の参加は欲しいです。内容的には達成は80%だと考えます。認知症のご本人も介護家族の方も、周囲の目が気になる、それは周囲の人々の支えが無い事の証明でもあります。ご相談者の多くが重度の介護の真ただ中のご家族が多く、精神的・時間的余裕がなく周囲の方々への直接的な助言ができるまでに勧められなかったことが、未達成部分です。

しかし、在宅や施設で介護中にもかかわらず、数多く講座等に参加してくれる方も4名、介護が終った方が2名毎回のようにお手伝いに来て頂いています。

集合住宅での相談会の20回近くは、個人的相談と位置付けて、評価は低くしてあります。しかし、我々に声を掛けて頂いた方々約20名は、限られた範囲ではありますが、将来的には、地域の有力な、地域パートナーに必要な人材です。

(2) 事業課題の解決について

計画時に設定した事業課題は、我々が解決できるものではありませんが、点での種まきは出来掛けているかと考えます。オープンの場合での交流会・ワークショップ・相談会等に300人を超す市民が参加してくれたことに加え、訪問に依る相談会の家族の方等がオープンの場合に参加し、初対面の方との交流に36人が参加。課題解決の成果と感じています。この芽が、根が広がるよう、活動していきます。

5 今後の事業展開

我々の活動は介護する人も、介護される人も、共に笑顔で暮せることが目標です。地域で暮すためには、様々な切り口が必要です。認知症を前面に押し出すことと同じように、地域で暮すことに必要な、様々な要素、運動、食べ物、子育て、趣味、娯楽等々の視点からの暮らしを、認知症の当事者や介護家族にも必要です。これらを組み合わせた、活動が出来る筈です。それが欠けている為に、理解の輪が広がらないと気づかされました。我々が運動の講座、食べ物のワークショップ、子育て、絵手紙等の講座を開催し、認知症と関連することを伝えたり、認知症講座の案内チラシの裏に「ちょっと役立つ・・・」を掲載したり、講座等に参加した市民の得意な分野を次回、講師的に指導してもらい、参加者同士の繋がりを創ることも取り入れる。認知症関係者が自ら作って来てしまった、垣根を取り払うことが、最優先と考えます。基本は様々な不安・悩みを持つ人に、寄り添える、目を向ける、声を掛ける事の出来る市民を増やすことが、出発点であり、全てだと思います。

収支決算書

【事業費収入額(収入)】

区分	科 目	予算額	決算額	差引額	積算内訳
団体	本部事業費	¥ 10,000	¥ 14,210	¥ ▲4,210	拠出金
	支援会費	¥ 5,000	¥ 6,000	¥ ▲1,000	支援会費1000円×6人
	事業収入	¥ 25,000	¥ 30,000	¥ ▲5,000	参加費500円×60人
	寄付金・協賛金	¥ 0	¥ 72,890	¥ ▲72,890	寄付金47,890円 協賛金・フリーマーケット25,000円収入より
	自己資金の合計額 (A)	¥ 40,000	¥ 123,100	¥ ▲83,100	
市	市民活動助成金 (B)	¥ 97,000	¥ 97,000	¥ 0	←精算額
合計額 (C) = (A+B)		¥ 137,000	¥ 220,100	¥ ▲83,100	

【事業費の支出額(支出)】

	科 目	予算額	決算額	差引額	積算内訳
助成金の交付対象経費	報償費	¥ 12,000	¥ 19,000	¥ ▲7,000	講師3000円×3人5000円×2人
	印刷製本費	¥ 15,000	¥ 33,450	¥ ▲18,450	広報チラシの印刷代コピー代
	消耗品費	¥ 18,400	¥ 18,340	¥ 60	コピー用紙
		¥ 21,000	¥ 34,842	¥ ▲13,842	インク・封筒他
	通信費	¥ 37,200	¥ 97,038	¥ ▲59,838	ハガキ700枚切手450枚
	使用料	¥ 14,400	¥ 0	¥ 14,400	会場使用料(公用のため)
		対象経費の合計 (D)	¥ 118,000	¥ 202,670	¥ ▲84,670
(その他対象外経費)	食糧費	¥ 10,000	¥ 0	¥ 10,000	会員昼食代
	交通費	¥ 9,000	¥ 2,090	¥ 6,910	会員の交通費
	雑費	¥ 0	¥ 15,340	¥ ▲15,340	ポスター用額等
	その他経費の合計額 (E)	¥ 19,000	¥ 17,430	¥ 1,570	
合計額 (F) = (D+E)		¥ 137,000	¥ 220,100	¥ ▲83,100	

【チェック項目】

- 1 助成金 (B) が、対象となる経費 (D) 欄の90%以内であること。
- 2 自己資金 (A) 欄が、「対象経費 (D) 欄の10%以上」であること。
- 3 助成金 (B) が、スタート助成の場合は1事業あたり10万円以内、ステップアップ助成の場合は1事業あたり30万円以内であること。
- 4 対象経費については、必ず証拠書類を添付すること。

精算額	¥ -
-----	-----

団体名 介護・認知症の家族と歩む会・松戸

代表者氏名 世話人代表 北川 邦彦

収支内訳書

【事業費の収入額】

科 目		金 額	内 訳	摘 要
団 体	本部事業費	¥ 14,210		拠出金
	支援会費	¥ 6,000	1000円×6人	支援会員
	事業収入	¥ 30,000	500円×60人	参加費(認知症パートナー講座)有料参加者
	寄付金・協賛金	¥ 72,890		寄付金47,890円協賛金・フリーマーケット25,000円収入より
市	市民活動助成金	¥ 97,000		
合 計 額		¥ 220,100		

【事業費の支出額】

科 目		金 額	支出内訳	説明事項(用途など)
助成金の交付対象経費	報償費	¥ 19,000	3000円×3人 5000円×2人	外部講師
	印刷製本費	¥ 33,450		広報チラシの印刷代
	消耗品費	¥ 18,340		コピー用紙
		¥ 34,842		インク・封筒他
	通信費	¥ 97,038	ハガキ700枚 切手450枚	講座等案内他
	使用料	¥ 0		会場使用料(公用のため)
	対象経費の合計	¥ 202,670		
その他経費	食糧費	¥ 0		
	交通費	¥ 2,090		会員の交通費
	雑費	¥ 15,340		ポスター用額等
	その他経費の合計	¥ 17,430		
合 計 額		¥ 220,100		

個々の家族構成・生活スタイルに合った
「我が家の災害マニュアル」を作ろう事業

NPO法人MamaCan

活動状況報告書

1 事業名称 個々の家族構成・生活スタイルに合った「我が家の災害マニュアル」を作ろう事業

2 実施主体

■ 団体名：NPO法人MamaCan

従事者数：3名

団体概要：母親と親子の輝く未来を願う人たちの夢と希望を形にし、子育てに関わる人はもちろん子育てに直接関わらない人たちとも互いに支えあいながら、様々な問題を解決する為の「情報」や「場」の提供を目的とする。

3 事業の実施内容

I 防災カレッジ（松戸 古民家ホームシェア co-no-mi）

日付	作業内容
5月1日～5日	講座企画打ち合わせ・「防災マニュアル」記載内容検討
5月6日～18日	「防災マニュアル」内容打ち合わせ⇒修正⇒決定
5月19日～22日	チラシの企画及び作成
5月23日	防災マニュアル・チラシの印刷
5月31日	告知開始(インターネット・チラシ配布・ポスター掲示)
6月17日～22日	講座準備
6月23日	防災カレッジ 古民家ホームシェア co-no-mi 講師危機管理課・流山子育てプロジェクト青木氏 参加者12人
6月29日	防災カレッジ 古民家ホームシェア co-no-mi 講師 整理収納コンサルタント青山氏 参加者12人

II 防災カレッジ（東松戸 大功レンタルスペース）

日付	作業内容
7月25日～31日	講座企画打ち合わせ
8月5日～9日	チラシの企画及び作成
8月10日	チラシの印刷
8月20日	告知開始(インターネット・チラシ配布・ポスター掲示)
9月7日～13日	講座準備
9月14日	防災カレッジ 大功レンタルスペース 講師危機管理課・流山子育てプロジェクト青木氏参加者14人
9月28日	防災カレッジ 大功レンタルスペース 講師 整理収納コンサルタント青山氏参加者14人

Ⅲ 防災カレッジ（新松戸 新松戸市民センター）

日 付	作 業 内 容
11月21日～30日	講座企画打ち合わせ
12月1日～4日	チラシの企画及び作成
12月5日	チラシの印刷
12月15日	告知開始(インターネット・チラシ配布)
1月12日～18日	講座準備
1月19日	防災カレッジ 新松戸市民センター 講師危機管理課・流山子育てプロジェクト青木氏参加者23人
1月25日	防災カレッジ 新松戸市民センター 講師 整理収納コンサルタント青山氏参加者23人

4 事業成果について

(1) 事業目的の達成について

松戸市の防災について危機管理課職員の皆様より、そして子連れ防災については青木氏よりそれぞれわかりやすく説明して頂き、またその後直接参加者の疑問や意見を聞く時間をたっぷり取ったことで、必要な知識を得ることができたと思う。また、マニュアルについても、家族の個人情報の把握からいざという時の避難、備蓄、動き方などをそれぞれまとめ、家庭に持ち帰り話し合うきっかけの時間とすることができた。

事業の他にも、今回 MamaCan が松戸市の助成事業として「防災カレッジ」を行ったことで「男女共同参画課事業 女性、男性、家族の視点で考える防災 パネリスト」「小金原地区防災講座 女性・子ども・地域・防災 パネリスト」「大野防衛大臣政務官との車座ふるさとトーク 自衛隊と地域社会との信頼醸成 子育て世代代表参加」「商工会議所青年部主催 外環松戸サバイバルパーク 防災ブース出展」など、市内の様々な防災講座やイベントにお声がけを頂いた。

各所との連携が強化されたことで、いざという時のパイプができた事、多くのファミリー世代に防災に関する知識をお伝えすることができたことが大きな収穫だった。

(2) 事業課題の解決について

なかなか関心を持ってないファミリー層に、防災に対する意識を持ってもらえたことがとてもよかった。また3地域で行ったことで、それぞれの地域に住むママ達の交流のきっかけになり、地域防災の一助になったことが大きかった。

マニュアルについては、すでに流山で子連れ向けの防災マニュアルが出来ており情報がまとまっているため、もう少し簡易的で子どもでも見ることができるようなものを作るほうが良いと感じた。

5 今後の事業展開

防災カレッジは継続して続けることに意味があるので、今後はファミリーや子ども向けに、週末の開催を検討する。内容も体験的なものを増やし、できるだけ楽しく防災を学べるよう心がける。防災マニュアルについては子どもでもわかる、シンプルなもの、持ち運びできる簡易的なものを考えてみたい。

そして、今後も各行政機関、企業等との横の繋がりを大切にし、いざという時の連携のパイプを作っておく。また、より多くのファミリー層に向けて防災の啓発活動を続けていきたい。

収支決算書

【事業費収入額(収入)】

区分	科目	予算額	決算額	差引額	積算内訳
団体	参加費	¥ 18,000	¥ 14,700	¥ 3,300	300円×49人
	防災ノート売上	¥ 0	¥ 200	¥ ▲200	防災ノート追加売上 1冊100円
	団体拠出金	¥ 42,300	¥ 27,575	¥ 14,725	対象事業費の一部を団体の会計より拠出
	自己資金の合計額(A)	¥ 60,300	¥ 42,475	¥ 17,825	
市	市民活動助成金(B)	¥ 100,000	¥ 100,000	¥ 0	←精算額
合計額(C) = (A+B)		¥ 160,300	¥ 142,475	¥ 17,825	

【事業費の支出額(支出)】

	科目	予算額	決算額	差引額	積算内訳
助成金の交付対象経費	報償費	¥ 60,000	¥ 60,000	¥ 0	外部講師謝礼 (12,000円+8,000円)×3回
	消耗品費	¥ 33,000	¥ 33,628	¥ ▲628	防災リュック(展示品) 防災食試食品
		¥ 21,000	¥ 0	¥ 21,000	紙(広報用)外部業者に印刷を発注したため印刷製本費として計上する
		¥ 3,600	¥ 3,456	¥ 144	筆記用具(ペン付箋)
		¥ 16,000	¥ 0	¥ 16,000	プリンターインク(外部印刷に変更したため)
		¥ 6,000	¥ 5,600	¥ 400	「私にもできる防災・減災ノート」1冊100円
	食糧費	¥ 300	¥ 865	¥ ▲565	講師水
	印刷製本費	¥ 720	¥ 26,466	¥ ▲25,746	受講者用配布物の紙&印刷代 広報用チラシポスター印刷代
	使用料及び賃貸料	¥ 18,000	¥ 11,340	¥ 6,660	会場使用料
	保険料	¥ 1,680	¥ 1,120	¥ 560	行事保険
				¥ 0	
		対象経費の合計(D)	¥ 160,300	¥ 142,475	¥ 17,825
(その他経費)				¥ 0	
	その他経費の合計額(E)	¥ 0	¥ 0	¥ 0	
合計額(F) = (D+E)		¥ 160,300	¥ 142,475	¥ 17,825	

【チェック項目】

- 1 助成金(B)が、対象となる経費(D)欄の90%以内であること。
- 2 自己資金(A)欄が、「対象経費(D)欄の10%以上」であること。
- 3 助成金(B)が、スタート助成の場合は1事業あたり10万円以内、ステップアップ助成の場合は1事業あたり30万円以内であること。
- 4 対象経費については、必ず証拠書類を添付すること。

精算額	¥ -
-----	-----

団体名 NPO法人MamaCan

代表者氏名 理事長 山田 美和

収支内訳書

【事業費の収入額】

科目		金額	内訳	摘要
団体	事業収入	¥ 14,700	¥3,600 ¥4,200 ¥6,900	第1回参加者 12名×300円 第2回参加者 14名×300円 第3回参加者 23名×300円
	事業収入	¥ 200		第3回参加者 防災ノート追加売上
	団体拠出金	¥ 27,575		
市	市民活動助成金	¥ 100,000		
合計額		¥ 142,475		

【事業費の支出額】

科目		金額	支出内訳	説明事項（用途など）
助成金の交付対象経費	報償費	¥ 60,000	¥36,000 ¥24,000	外部講師謝礼 青木八重子氏 12,000円×3回 青山美香氏 8,000円×3回
	消耗品費	¥ 33,628		防災リュック（展示品） 防災食試食用
		¥ 0		紙（広報用）外部業者に印刷を発注したため印刷製本費として計上する
		¥ 3,456		筆記用具（ペン・付箋）
		¥ 0		プリンターインク（外部印刷に変更したため）
		¥ 5,600	第一回 ¥1,500 第二回 ¥2,000 第三回 ¥2,100	「私にもできる防災・減災ノート」1冊 100円
	食糧費	¥ 865	第一回 ¥200 第二回 ¥285 第三回 ¥380	講師水
	印刷製本費	¥ 26,466	第一回 ¥6,938 第二回 ¥4,208 第三回 ¥1,450	チラシ、ポスター代 （チラシ1,000枚+ポスター100枚） （チラシ500枚+ポスター100枚） （チラシ500枚+ポスター0枚）
			第一回 ¥6,710 第二回 ¥4,000 第三回 ¥3,160	受講者用配布物の紙&印刷代
	使用料及び賃借料	¥ 11,340	(1,890円×3時間) ×2日間	大功（第2回目）
保険料	¥ 1,120	28円×40人	行事保険（第2回目）	
対象経費の合計		¥ 142,475		
その他経費				
	その他経費の合計	¥ 0		
合計額		¥ 142,475		

公共サインの改善で松戸の街並みを
レベルアップする事業

都市環境デザイン学研究室 公共サイン研究会

活動状況報告書

1 事業名称 公共サインの改善で松戸の街並みをレベルアップする事業

2 実施主体

- 団体名： 都市環境デザイン学研究室公共サイン研究会
- 従事者数： 15人
- 団体概要： 公共サインの改善を通し、
住みよい松戸の実現を目指して活動する団体

3 事業の実施内容

※ 実施内容について、事業毎に記載してください。

I ケーススタディの実施

日付	作業内容
5月20日～ 7月24日	事業企画打ち合わせ
7月30日	第1回ヒアリング実施 (バリアフリーまつど市民会議 8名) (本研究会 8名) 計16名
9月8日	第2回ヒアリング実施 (松戸宿坂川献灯まつり実行委員会 6名) (松戸市都市計画課 2名)(本研究会 3名) 計11名
10月10日～ 11月20日	フィールドワークの企画・準備
10月16日～11 月25日	チラシによるPR活動(坂川周辺の町内会へ回覧版にて配布)
11月21日	第3回ヒアリング実施 (生活介護施設 喜楽家 6名)(本研究会 4名) 計10名
11月23日	フィールドワーク①実施 八柱駅～21世紀の森と広場(徒歩) (市民 2名) (本研究会 4名) 計6名
11月25日	フィールドワーク②実施 松戸駅西口～坂川～戸定邸(徒歩) (市民 参加者12名) (松戸市都市計画課 3名) (本研究会 4名) 計19名 フィールドワーク③実施 金町～松戸・三郷～松戸・市川～松戸(車) (本研究会 3名) 計3名

II 平成 29 年度活動報告会の実施

日 付	作 業 内 容
10 月 10 日～ 12 月 26 日	企画打ち合わせ
12 月 14 日～H30 年 1 月 26 日	ポスター・チラシによる PR 活動 広報まつど、市内公共施設 41 箇所への配架、COC 松戸サテライトキャンパス（旧浮ヶ谷邸）への掲示、バリアフリーまつど市民会議・松戸宿坂川献灯まつり実行委員会への PR 等
1 月 10 日～26 日	活動報告会で行うワークショップ準備
1 月 15 日	広報まつど掲載
1 月 27 日	平成 29 年度活動報告会の実施 松戸市女性センター ゆうまつど 4 階ホール （市民 10 名）（本研究会 8 名）計 18 名

III その他活動

当初計画していた事業内容に加え、以下のような活動も積極的に行った。

i. 「みどりの回廊ワーキンググループ」での活動実施

松戸エリアにおける様々な学生団体の連携として、地域とのより良い関係づくりと、活動の発展、持続性の向上を目的にワーキンググループとして活動をスタートした。これまでの主な活動内容としては、月に 1 回地域への活動内容の発信として「みどりの回廊通信」を発行、各団体の活動及び今後の連携について地域の方々に知っていただくためのポスター展示及び座談会の実施等である。

ii. 日本造園学会関東支部大会でのポスター発表

平成 29 年 11 月 11 日に日本大学で行われた、日本造園学会関東支部大会にて、公共サイン研究会の活動に関するポスター及び上記「みどりの回廊ワーキンググループ」の活動に関するポスターの、計 2 件の発表を行った。その結果、ワーキンググループの活動に関するポスターについては優秀研究賞を受賞することができた。

4 事業成果について

(1) 事業目的の達成について

目的の1点目である「公共サインを通して市民と共に今よりもっと住みやすい松戸を考える」については、今年度行ったヒアリングやフィールドワークを通してバリアフリー・景観・観光・まちづくりなどに興味を持つ多様な市民の方々との関係構築ができたことから、概ね達成できたと感じている。

2点目である「松戸市の街全体のイメージアップにつながるサインデザインガイドの検討」については、事業実施のなかで議論するうちに、デザインガイド自体の検討を本研究会の活動として行うのではなく、デザインガイドが松戸市において策定されることを見据えて公共サインに対する市民の意識醸成につながる活動を行うことが本研究会の目的として据えるべきという考えに至り、そのための活動を行ってきた。具体的には、上述のケーススタディだけでなく「みどりの回廊ワーキンググループ」の一員としての活動も行うことで、サインや景観等に興味のある市民だけでなく、環境・農・緑や花なども含めたより幅広い興味関心を持つ市民へアピールする活動を行ってきた。

(2) 事業課題の解決について

課題としては、松戸市の公共サインにおける景観・わかりやすさ・アイデンティティの観点の必要性を挙げていた。どれも活動開始から2年目ではまだ解決に至っていないものの、景観については「松戸宿坂川献灯まつり実行委員会」との連携、わかりやすさについては「バリアフリーまつど市民会議」との連携を開始することができ、課題の解決へ向けた現状分析を進めている。また、アイデンティティについては松戸市全域を一体的に捉えるのではなく、多様な特徴を持つ小さなエリア単位に分けて考えることとし、次年度以降の活動でエリアのアイデンティティを市民と共に考えるワークショップを企画する予定である。

5 今後の事業展開

平成30年度は都市計画課との協働事業となるため、市民の公共サインに対する意識を、「行政のもの」から「市民・地域のもの」へ変化させる動機付けとなるような活動を継続していきたい。また、公共サインを通して市民が松戸のまちについて考え、ボトムアップで公共サインに関する活動を市内全域へ拡大させていきたいと考えている。

収支決算書

【事業費収入額(収入)】

区分	科目	予算額	決算額	差引額	積算内訳
団体	団体拠出金	¥ 34,100	¥ 5,956	¥ 28,144	対象事業費の一部及び対象外経費を団体の会計より拠出
	会費	¥ 4,500	¥ 7,500	¥ ▲3,000	
	自己資金の合計額 (A)	¥ 38,600	¥ 13,456	¥ 25,144	
市	市民活動助成金 (B)	¥ 100,000	¥ 91,000	¥ 9,000	←精算額
	合計額 (C) = (A+B)	¥ 138,600	¥ 104,456	¥ 34,144	

【事業費の支出額(支出)】

	科目	予算額	決算額	差引額	積算内訳
助成金の交付対象経費	報償費	¥ 20,000	¥ 0	¥ 20,000	ケーススタディ 同行者謝礼
	消耗品費	¥ 77,250	¥ 79,023	¥ ▲1,773	プリンタ用トナーカートリッジ、事務用紙、報告書用ファイル
		¥ 1,000	¥ 1,744	¥ ▲744	ワークショップ 材料費 ワークショップ 用紙コップ
		¥ 1,500	¥ 0	¥ 1,500	上記に含む
		¥ 0	¥ 0		活動記録用紙160枚 (4ページ×40部) 上記に含む
		¥ 10,000	¥ 11,942	¥ ▲1,942	活動内容に関する書籍
	保険	¥ 3,000	¥ 0	¥ 3,000	行事保険 (ケーススタディ)
	使用料及び賃借料	¥ 1,350	¥ 0	¥ 1,350	ケーススタディ報告会
		¥ 7,000	¥ 6,049	¥ 951	フィールドワーク用レシオ
	食糧費	¥ 2,000	¥ 2,168	¥ ▲168	フィールドワーク及びワークショップ 参加者用 お茶・菓子
	通信運搬費	¥ 500	¥ 314	¥ 186	切手代
	対象経費の合計 (D)	¥ 123,600	¥ 101,240	¥ 22,360	
(その他経費)	食糧費	¥ 15,000	¥ 0	¥ 15,000	
	造園学会関東支部大会ポスター発表登録料	¥ 0	¥ 3,000	¥ ▲3,000	
	振り込み手数料	¥ 0	¥ 216	¥ ▲216	
	その他経費の合計額 (E)	¥ 15,000	¥ 3,216	¥ 11,784	
	合計額 (F) = (D+E)	¥ 138,600	¥ 104,456	¥ 34,144	

【チェック項目】

- 1 助成金 (B) が、対象となる経費 (D) 欄の90%以内であること。
- 2 自己資金 (A) 欄が、「対象経費 (D) 欄の10%以上」であること。
- 3 助成金 (B) が、スタート助成の場合は1事業あたり10万円以内、ステップアップ助成の場合は1事業あたり30万円以内であること。
- 4 対象経費については、必ず証拠書類を添付すること。

精算額	¥ 9,000
-----	---------

団体名 都市環境デザイン学研究室公共サイン研究会

代表者氏名 会長 湯浅 かさね

収支内訳書

【事業費の収入額】

科目		金額	内訳	摘要
団体	団体拠出金	¥ 5,956		対象事業費の一部及び対象外経費を団体の会計より拠出
	会費	¥ 7,500		
		¥ 0		
市	市民活動助成金	¥ 91,000		
合計額		¥ 104,456		

【事業費の支出額】

科目		金額	支出内訳	説明事項(用途など)
助成金の交付対象経費	報償費	¥ 0		市民から広く参加者を募ることとしたため
	消耗品費	¥ 79,023	17,604円*1 19,872円*3 1,728円*1 75円*1	プリンター(ブラック17,064円、シアン・マゼンタ・イエロー各19,872円)、事務用紙A4 1,728円、活動報告書用ファイル1冊75円
		¥ 1,744	988円*1枚 108円*3部 108円*2個 216円	スプレッドシート 988円、厚紙108円*3=324円、ワリ216円(ワークショップ材料費)、紙コップ216円(ワークショップ参加者用)
		¥ 0		上記に含む
		¥ 0		活動記録用紙160枚(4ページ*40部) 上記に含む
		¥ 11,942		活動内容に関する書籍
	保険料	¥ 0		松戸市都市計画課と共催にて対応のため(全国市長会を適用)
	使用料及び賃借料	¥ 0		公用申請によって活動報告会の会場を使用したため
		¥ 6,049		フィールドワーク用レジャー
	食糧費	¥ 2,168		フィールドワーク及びワークショップ実施のため: 飴404円、お茶・菓子 1,764円
	通信運搬費	¥ 314	140円*1枚, 82円*2枚, 10円*1枚	切手代
	対象経費の合計	¥ 101,240		
その他経費	造園学会関東支部大会発表登録料	¥ 3,000		
	振り込み手数料	¥ 216		
	その他経費の合計	¥ 3,216		
合計額		¥ 104,456		

音楽活動によるまちの活性化事業

松戸合唱まちづくり同好会

活動状況報告書

1 事業名称 音楽活動によるまちの活性化事業

2 実施主体

■ 団体名： 松戸合唱まちづくり同好会
従事者数： 39名
団体概要：

千葉県生涯大学校在校生や卒業生が主に在籍しているボランティア活動を主体とする団体である。主に市内の福祉施設等を訪問し合唱を通じて地域との交流を行い、まちの活性化を図っている。また、歌唱力の向上の為練習を行いその成果発表の場として音楽会等の開催やコンサート出演等を行いつつ部員相互の親睦を深め充実した人生を送ることを目的としている。

3 事業の実施内容

(1) ボランティア活動（助成金対象）

回数	実施日	曜日	場所	参加人数	お客様人数
1	4月13日	木	あけぼの流山	9	23
2	4月24日	月	なでしこ馬橋	11	23
3	4月26日	水	そよ風	6	18
4	5月24日	水	秋桜大金平	10	16
5	5月31日	水	わかば胡録台	8	11
6	6月1日	木	あずみ苑	15	40
7	6月7日	水	エスケアステーション	12	28
8	7月3日	月	なでしこ馬橋	15	15
9	7月10日	月	栗ヶ沢デイホーム	18	18
10	7月16日	日	サニーライフ	17	25
11	7月31日	月	ひまわりの丘	24	70
12	8月9日	水	わかば胡録台	13	13
13	8月21日	月	なでしこ矢切	26	26
14	9月11日	月	なでしこ馬橋	17	17
15	10月3日	火	栗ヶ沢デイホーム	19	19
16	10月18日	水	なでしこ矢切	22	23
17	12月11日	月	わかば胡録台	13	15
18	12月13日	水	エスポワール	18	100
19	12月17日	日	サニーライフ	22	22
20	12月18日	月	松戸ニッセイエデンの園	16	33
21	12月19日	火	エスケアステーション	19	39
22	12月19日	火	生活クラブ新松戸	15	15

23	1月17日	水	なでしこ矢切	23	23
24	2月26日	月	なでしこ馬橋	17	19
25	3月14日	水	栗ヶ沢デイホーム	19	23
			計	404	674

(2) 地域活動（助成金対象）

回数	実施日	曜日	場所	参加人数	お客様人数
1	8月27日	日	矢切公民館ホール	30	125
2	10月21日	土	八ヶ崎市民センター	23	70
3	3月4日	日	サポートセンター	22	350
			計	75	545

※（2）地域活動の8月27日実施の定期演奏会については、三橋氏（三橋ピアノ教室教師）に講師として出演していただきました。

4 事業成果について

(1) 事業目的の達成について

計画時年間事業活動回数→20回以上に対し、ボランティア活動が25回、地域活動が3回の計28回実施しており、当初の目標を大幅に超えることができ更にボランティア参加延べ人数も当初予定の200人以上を大幅に上回り1,219人に達した。
今回のメイン事業であった定期演奏会は大成功であり他のコンサート仲間との交流もあり充実感を得られた。

(2) 事業課題の解決について

ボランティア活動では、お客様である施設の多くの方々に元気と勇気を与えられることができ、当初335名を目標にしていたが600人を超える人たちに喜んでもらえた。
又、事業費用を予算より超えないため講師料をできる限り省き、同好会の仲間たちで協力しそれに対応したが、講師あつての活動事業であるので、仲間たちで対応した経費についてもその一部でも助成金交付の対象となる経費として認めてもらいたい。

5 今後の事業展開

歌唱力を更に向上させ、お客様である施設の多くの方に多くの感動をあたえたいので常日頃の練習に励み、場数を多く踏むためにも定期演奏会等やイベントを開催の充実を図り地域の人たちとの音楽による交流を深め、合唱祭や音楽祭にも率先して出演しパフォーマンス能力を高め、ボランティア活動の質を高める事とする。

収支決算書

【事業費収入額(収入)】

区分	科目	予算額	決算額	差引額	積算内訳
団体	合唱部団体拠出金	¥ 57,500	¥ 31,441	¥ 26,059	対象事業費の一部及び対象外経費を団体の会計より拠出
	事業収入	¥ 70,000	¥ 22,900	¥ 47,100	ボランティアに対する謝礼金
	自己資金の合計額 (A)	¥ 127,500	¥ 54,341	¥ 73,159	
市	市民活動助成金 (B)	¥ 100,000	¥ 100,000	¥ 0	←精算額
合計額 (C) = (A+B)		¥ 227,500	¥ 154,341	¥ 73,159	

【事業費の支出額(支出)】

	科目	予算額	決算額	差引額	積算内訳
助成金の交付対象経費	報償費	¥ 144,000	¥ 15,000	¥ 129,000	外部講師謝礼
	消耗品費	¥ 8,600	¥ 49,409	¥ ▲40,809	インク代、用紙代、バルーンアート、他
		¥ 10,000	¥ 10,800	¥ ▲800	施設用歌詞冊子 (愛唱名歌)
	コピー代	¥ 2,000	¥ 15,270	¥ ▲13,270	歌集、パンフレット、活動資料、他
	機材運搬費	¥ 6,000	¥ 30,000	¥ ▲24,000	音響機器 配線機材 運搬
	使用料及び賃借料	¥ 2,000	¥ 0	¥ 2,000	施設訪問にて公演のため使用料発生せず
		¥ 8,400	¥ 0	¥ 8,400	音響使用料無料で依頼した
		対象経費の合計(D)	¥ 181,000	¥ 120,479	¥ 60,521
(その他対象外経費)	食糧費	¥ 6,500	¥ 2,960	¥ 3,540	講師弁当代
	交通費他	¥ 40,000	¥ 0	¥ 40,000	参加者負担とした為出費なし
	その他		¥ 30,902	¥ ▲30,902	修理費、通信費、利用料、領収書不備、等
	その他経費の合計額 (E)	¥ 46,500	¥ 33,862	¥ 12,638	
合計額 (F) = (D+E)		¥ 227,500	¥ 154,341	¥ 73,159	

【チェック項目】

- 1 助成金 (B) が、対象となる経費 (D) 欄の90%以内であること。
- 2 自己資金 (A) 欄が、「対象経費 (D) 欄の10%以上」であること。
- 3 助成金 (B) が、スタート助成の場合は1事業あたり10万円以内、ステップアップ助成の場合は1事業あたり30万円以内であること。
- 4 対象経費については、必ず証拠書類を添付すること。

精算額	¥ -
-----	-----

団体名 松戸合唱まちづくり同好会

代表者氏名 部長 鈴木 孝侑

収支内訳書

【事業費の収入額】

科 目		金 額	内 訳	摘 要
団 体	合唱部団体拠出金	¥ 31,441		対象事業費の一部及び対象外経費を団体の会計より拠出
	事業収入	¥ 22,900	3,300円*3回 5,000円*2回 1,000円*3回	施設よりの謝礼金
市	市民活動助成金	¥ 100,000		
合 計 額		¥ 154,341		

【事業費の支出額】

科 目		金 額	支出内訳	説明事項（用途など）
助成金の交付対象経費	報償費	¥ 15,000	15,000円*1回	外部講師謝礼 三橋ピアノ教室教師 三橋恵理子氏 15,000円×1回
	消耗品費	¥ 49,409	インク代18,360円 用紙代8,279円 バルーンアート代9,890円 他	インク代、資料作成用パソコン用インク用紙代、歌詞用模造紙他 バルーンアート、風船 目玉シール、その他
		¥ 10,800	1,000円*10冊	施設用歌集（愛唱名歌）
	コピー代	¥ 15,270		歌集、パンフレット、活動資料、等53点
	機材運搬費	¥ 30,000	1,200円*25回	音響機器*配線機材の運搬費
	使用料及び賃借料	¥ 0		施設訪問にて公演のため使用料発生せず
		¥ 0		音響使用料無料で依頼した
対象経費の合計		¥ 120,479		
その他経費	食糧費	¥ 2,960	1,400円*2箱 80円*2本	講師弁当とお茶代
	その他	¥ 30,902		修理費、通信費、利用料、領収書不備、等12点
	その他経費の合計額（E）	¥ 33,862		
合 計 額		¥ 154,341		

「自炊者の常用レシピ - 母の味 -」を
広く市民に配布する事業

数値調理会

活動状況報告書

1 事業名称 「自炊者の常用レシピ—母の味—」を広く市民に配布する事業

2 実施主体

■ 団体名：数値調理会

従事者数： 5名

団体概要：数値頼りにレシピを見ながら調理する高齢者にも易しい男目線の文章の表題冊子を平成29年に配布し、作り置きや仕込み食材で塩分を減らす減塩試食会を隔月に開催している。初対面の男女も食を話題に盛り上がっている。

3 事業の実施内容

隔月に数値調理会たよりを発行して会員間の連絡をとりつつ、常用レシピを配布し、好評を得た。助成選考における付帯意見「自炊の楽しさ」に気づいてもらうため減塩試食会をほぼ隔月に行った。

I) 常用レシピの配布

日付	作業内容
5月～6月	常用レシピの企画及び原稿作成
6月20日	常用レシピ印刷完成
7月	常用レシピ300部（配布先女性センター、支所等）
9月	常用レシピ150部（配布先体操クラブ、健康福祉課栄養士）
10月～12月	常用レシピ約150部（配布先食の安全を考える会等）

II) 公開減塩試食会（参加者に常用レシピ配布）の実施

日付	作業内容
7月21日	公開減塩試食会（於サポセン）参加者13名 男の料理教室元会長 大林 昭氏 を講師に招聘
9月10日～12日	チラシの企画及び作成
9月22日	公開減塩試食会（於五香市民センター）参加者7名
10月22日	公開減塩試食会（於小金市民センター）参加者13名
11月18日	公開減塩試食会（於サポセン）参加者7名
1月27日	公開減塩試食会（於サポセン）参加者10名
2月24日	公開減塩試食会（於サポセン）参加者18名
3月24日	市販品無塩パン試食会（於女性センター）参加7名

Ⅲ) その他の実施事項

日付	作業内容
6月10日	非公開第1回試食会 参加者3名
12月16日	小金ほのぼの食堂意見交換会

4 事業成果について

(1) 事業目的の達成について

- ① 常用レシピの配布部数は120%達成した。質的にもサポートセンターニュースレター上に絶賛の書評を頂いたほか、多くの女性職場で好意的に読まれている。
- ② 自炊を楽しむための仕掛けとして減塩試食会を公開募集した結果、毎回2~3名の新規参加者を得、減塩味の理解を得た。最多18名の参加を得、健康食を楽しむ雰囲気生まれた。減塩食例（トマト、パプリカ、にんじん、蕪、レンコン、レタス、豆苗、ワカメ8種）

(2) 事業課題の解決について

- ① レシピ配布は計画にほぼ沿い、目標を達成しているが、試食会参加者の口コミによる配布を行うことで男女共同参画厨房の実現と減塩意識の実生活への反映をはかりたい。減塩試食会の当初計画は松戸全市民対象と考えていたが、公共施設の調理室を利用してみると、参加者は地域限定的で他地区からの参加者は少なく、別の市民センターに場所を変えると継続参加が望めない。従って、最終的にはサポセン1箇所に固定し、継続参加者を得て参加者増を志向していく。

5 今後の事業展開

キーワード「減塩試食会」の効果に期待する。対象者は限定的であるが、次年度に「減塩パン試食会」を開催する。減塩パンの効用は8年間英国の社会実験で確認された知識を普及する。減塩パンの入手方法を開拓し、市民の生活スタイルに合致する減塩食を開拓する。（当面市販の無塩パンを入手し、その自作実現を目指す。）

広報、口コミ等による参加者増が事業成功の鍵であり、将来的に、レシピ増刷とその頒布や調理器具のレンタルなど事業開発し、調理家電活用の抵抗感を減じるなど活動の拡大をはかる。

収支決算書

【事業費収入額(収入)】

区分	科 目	予算額	決算額	差引額	積算内訳
団体	団体拠出金	¥ 40,000	¥ 39,144	¥ 856	対象事業費の一部及び対象外経費を団体の会計より拠出
	事業収入	¥ 30,000	¥ 34,250	¥ ▲4,250	250円*3人+300円*20人+500円+55人 (試食会参加料)
	自己資金の合計額 (A)	¥ 70,000	¥ 73,394	¥ ▲3,394	
市	市民活動助成金 (B)	¥ 100,000	¥ 100,000	¥ 0	←精算額
合計額 (C) = (A+B)		¥ 170,000	¥ 173,394	¥ ▲3,394	

【事業費の支出額(支出)】

	科 目	予算額	決算額	差引額	積算内訳
助成金の交付対象経費	報償費	¥ 30,000	¥ 3,000	¥ 27,000	外部講師謝礼 1名 大林昭氏
	消耗品費	¥ 13,002	¥ 25,927	¥ ▲12,925	試食会食材、チラシ用紙等
	印刷製本費	¥ 121,240	¥ 136,195	¥ ▲14,955	レシピ及び試食会のチラシの印刷代
	使用料	¥ 2,960	¥ 6,670	¥ ▲3,710	会場使用料
	通信費	¥ 2,158	¥ 902	¥ 1,256	郵便代
		対象経費の合計 (D)	¥ 169,360	¥ 172,694	¥ ▲3,334
(その他経費)	食糧費	¥ 640	¥ 0	¥ 640	反省会を実施しなかったため
	手数料	¥ 0	¥ 700	¥ ▲700	「親子サラダ」レシピの公証人役場確定日付手数料
				¥ 0	
	その他経費の合計額 (E)	¥ 640	¥ 700	¥ ▲60	
合計額 (F) = (D+E)		¥ 170,000	¥ 173,394	¥ ▲3,394	

【チェック項目】

- 1 助成金 (B) が、対象となる経費 (D) 欄の90%以内であること。
- 2 自己資金 (A) 欄が、「対象経費 (D) 欄の10%以上」であること。
- 3 助成金 (B) が、スタート助成の場合は1事業あたり10万円以内、ステップアップ助成の場合は1事業あたり30万円以内であること。
- 4 対象経費については、必ず証拠書類を添付すること。

精算額	¥ -
-----	-----

団体名

数値調理会

代表者氏名

会長 岩崎 滋



収支内訳書

【事業費の収入額】

科目		金額	内訳	摘要
団体	団体拠出金	¥ 39,144		対象事業費の一部及び対象外経費を団体の会計より拠出
	事業収入	¥ 34,250	250円*3人+300円*20人+500円+55人	試食会参加者 第1回3名、第2回13名、第3回7名、第4回13名、第5回7名、第6回10名、第7回18名、第8回7名
市	市民活動助成金	¥ 100,000		
合計額		¥ 173,394		

【事業費の支出額】

科目		金額	支出内訳	説明事項（用途など）
助成金の交付対象経費	報償費	¥ 3,000		外部講師謝礼 講師名 大林 昭氏 3,000円×1回
	消耗品費	¥ 25,927		コピー用紙:7,598円、包装袋2,177円、キッチンタイマー321円、試食会食材費:13,214円、ラベルタック451円、ゴム印486円、アルタートケース1,680円
	印刷製本費	¥ 136,195		「自炊者の常用レシピ」印刷代:124,660円 試食会実施分チラシの印刷代:11,535円
	使用料	¥ 6,670		試食会実施分会場使用料:6,670円
	通信費	¥ 902		講師への郵便代:82円 試食会案内郵便代:820円
	対象経費の合計	¥ 172,694		
その他経費	食糧費	¥ 0		反省会を実施しなかったため
	手数料	¥ 700		「親子サラダ」レシピの公証人役場確定日付手数料
	その他経費の合計	¥ 700		
合計額		¥ 173,394		

「カレーを食べる会」事業

五番街ふれあいセンター

活動状況報告書

1 事業名称 「カレーを食べる会」事業

2 実施主体

■ 団体名：五番街ふれあいセンター

従事者数：24名（「カレーを食べる会」にスタッフ登録している人数）

団体概要：平成23年設立 ボランティア69名

75歳以上の単身者を中心に見守り活動

- ・ゴミ出し・声かけ・お話し相手・男の談話室
- ・カレーを食べる会

3 事業の実施内容

「カレーを食べる会」の実施内容（平成29年4月～平成30年3月）

開催日	内容（メニュー）
4月28日	「筍ご飯」「煮込みハンバーグ」「苺大福」
5月25日	「ヒレカツカレー」「青じそサラダ」「パインヨーグルト」
6月22日	「夏野菜ポークカレー」「プレーンオムレツ」「プリン」
7月28日	「キーマカレー」「わかめと蒸鶏のサラダ」「フルーツポンチ」
8月24日	「ビーフカレー」「ゴウヤチャンプル」「西瓜」
9月22日	「シーフードカレー」「冬瓜のそろぼ煮」「ぶどう」
10月26日	「松茸ご飯」「カレー味ロールキャベツ」「お吸い物」「柿」
11月23日	「ビーフカレー」「蓮根サラダ」「ささみのしそ巻」「レアチーズ」
12月22日	「カレー鍋」「海苔巻き」「ニシンの昆布巻き」「団子」
1月26日	「チキンカレー」「筑前煮」「かぼちゃのぜんざい」
2月22日	「カレー味ハヤシライス」「ささみのバンバンジー」「煮りんご」
3月23日	「ポークカレー」「ほうれん草のベーコン炒め」「桜餅」

- ① 平成26年9月から開始して、8月で第36回目の開催で3年間継続中です。
- ② 上記メニューの調理活動以外に、出欠確認作業、事前打合せ、会場作り、後片付け、反省会を毎月実施しています。
- ③ 「カレーを食べる会」を中心とした、五番街の見守り活動を五番街の住民、地域の方々へ広める一環としてボランティアのユニホーム（ベスト）を作成してゴミ出し、納涼祭の模擬店、地域での講演等に着用しています。
- ④ 五番街のボランティア団体（五番街ふれあいセンター・ボランティア花水木の会）の活動を紹介するパンフレットを作成して、五番街全世帯（808世帯）への配布と地域での講演活動に持参して配布しています。
- ⑤ 地域の見学者を積極的に受け入れています。（32名の招待客）
 - ・松戸市宮間高齢者支援課課長・新松戸地域包括支援センター長
 - ・串崎新田町会長・西パークハウス理事長・新松戸中央病院地域医療推進室

- ・新松戸地区民生児童委員連絡会会長・足立区中央地域包括支援センター
- ⑥ 各種講演・講座に参加して、住民による「見守り活動」の地域拡大を図った。
 - ・松戸市の「地域活躍塾」講座にゲストとして参加した。
 - ・「地域活躍塾」の塾生（5名）を受け入れて、体験してもらった。
 - ・串崎新田町会の第36回住民講座に参加した。
 - ・足立区の「シニアが輝き、シニアが支えるまちを考える」の講演会に参加した。
 - ・松戸市の市民活動助成制度サポート講座にゲストとして参加した。

4 事業成果について

(1) 事業目的の達成について

- ① 月一回の開催は計画通り毎月実施出来た。
参加者数は計画720名（60名/回）を917名（76名/回）と達成した。
- ② 事前の出欠確認作業を通じて、毎月53名の単身者の「見守り活動」を実施している。
- ③ 食前の「あいうべ」体操、大きな声で2～3曲の歌を歌う歌の会、メニュー説明、誕生会と写真撮影を継続して楽しんでいます。
- ④ 新規会員は、会員10名、拡大会員20名（10組の夫婦）と増加しました。

(2) 事業課題の解決について

- ① 今年度は、「カレーを食べる会」の事業を中心とした住民による住民の見守り活動を新松戸地区へ普及することを課題に活動しましたが、サンパス協議会（サンライトパストラル系マンションの連絡会）、新松戸地区高齢者支援連絡会、松戸市の地域活躍塾等に参加して活動紹介を行いました。
- ② 「カレーを食べる会」の顔の見える見守り活動から、災害時の安否確認、支援活動に繋がる活動に発展している。

5 今後の事業展開

- ① 今後も新松戸地区へ住民による住民の見守り活動を普及する活動を展開する。各種講演会、講座に積極的に参加し、また「カレーを食べる会」へ招待して活動を紹介する。
- ② 五番街の中では、納涼祭、餅つき大会に模擬店（カレー、唐揚げ販売）を出店して活動のアピールとボランティアの募集活動を行う。
- ③ 理事会と一緒に定期的に認知症サポート講座を開催して、五番街の住民に認知症の紹介とその付き合い方を理解してもらう活動を行う。

収支決算書

【事業費収入額(収入)】

区分	科目	予算額	決算額	差引額	積算内訳
団体	団体拠出金	¥ 167,100	¥ 171,049	¥ ▲3,949	助成対象事業経費一部と対象外経費を団体から拠出。
	事業収入(参加者の会費)	¥ 216,000	¥ 275,100	¥ ▲59,100	会費300円×参加者(スタッフ含む)
	事業収入(スタッフの会費)	¥ 36,000	¥ 0	¥ 36,000	参加者の事業収入に計上
				¥ 0	
	自己資金の合計額(A)	¥ 419,100	¥ 446,149	¥ ▲27,049	
市	市民活動助成金(B)	¥ 250,000	¥ 250,000	¥ 0	←精算額
	合計額(C) = (A+B)	¥ 669,100	¥ 696,149	¥ ▲27,049	

【事業費の支出額(支出)】

	科目	予算額	決算額	差引額	積算内訳
助成金の交付対象経費	食糧費(食材費)	¥ 288,000	¥ 243,844	¥ 44,156	食材購入費
	印刷製本費	¥ 68,000	¥ 78,441	¥ ▲10,441	出欠表チラシ印刷代 パンフレット作製費
	消耗品費(食器類)	¥ 48,000	¥ 70,872	¥ ▲22,872	食器・スプーン・割箸・ 紙コップ等
	消耗品費(PCプリンターインク)	¥ 22,000	¥ 45,263	¥ ▲23,263	PCプリンターインク
	消耗品費(ユニホーム)	¥ 142,100	¥ 149,416	¥ ▲7,316	ボランティアのユニホーム
	消耗品費(事務用品)	¥ 0	¥ 2,857	¥ ▲2,857	模造紙等(歌詞を記入表示)、書類ケース
	通信費	¥ 36,000	¥ 71,874	¥ ▲35,874	電話代
	保険料	¥ 8,000	¥ 0	¥ 8,000	
		対象経費の合計(D)	¥ 612,100	¥ 662,567	¥ ▲50,467
(その他対象外経費)	食材費	¥ 48,000	¥ 0	¥ 48,000	
	交通費	¥ 9,000	¥ 0	¥ 9,000	
	保険料	¥ 0	¥ 8,000	¥ ▲8,000	検便代(領収書紛失)
	備品購入費	¥ 0	¥ 25,582	¥ ▲25,582	シュレッダー、圧力鍋購入
		その他経費の合計額(E)	¥ 57,000	¥ 33,582	¥ 23,418
	合計額(F) = (D+E)	¥ 669,100	¥ 696,149	¥ ▲27,049	

【チェック項目】

- 1 助成金(B)が、対象となる経費(D)欄の90%以内であること。
- 2 自己資金(A)欄が、「対象経費(D)欄の10%以上」であること。
- 3 助成金(B)が、スタート助成の場合は1事業あたり10万円以内、ステップアップ助成の場合は1事業あたり30万円以内であること。
- 4 対象経費については、必ず証拠書類を添付すること。

精算額	¥ -
-----	-----

団体名 五番街ふれあいセンター

代表者氏名 会長 土橋 育郎

収支内訳書

【事業費の収入額】

科目		金額	内訳	摘要
団体	団体拠出金	¥ 171,049		助成対象事業経費一部と対象外経費を団体から拠出。
	事業収入	¥ 275,100	300円*917人	参加者会費（スタッフ含む）
市	市民活動助成金	¥ 250,000		
合計額		¥ 696,149		

【事業費の支出額】

科目		金額	支出内訳	説明事項（用途など）
助成金の交付対象経費	食糧費（食材費）	¥ 243,844		12回分の食材購入費
	印刷製本費	¥ 78,441		出欠表付き案内チラシ印刷代・パンフレット作成費用
	消耗品費（食器類）	¥ 70,872		容器・スプーン・箸等購入費
	消耗品費（PCプリンターインク）	¥ 45,263		PCプリンターインク購入
	消耗品費（ユニホーム）	¥ 149,416	2,135円×70着	ボランティア全員のユニホーム（ベスト）活動するとき着用して住民へアピールする。
	消耗品費（事務用品）	¥ 2,857		歌詞を記入して表示する模造紙購入
	通信費	¥ 71,874		電話代
	保険料	¥ 0		
	対象経費の合計	¥ 662,567		
その他経費	食材費	¥ 0		
	交通費	¥ 0		
	保険料	¥ 8,000	検便代	検便は実施したが領収書を紛失の為未計上
	備品購入費	¥ 25,582		シュレッダー・圧力鍋購入
	その他経費の合計	¥ 33,582		
合計額		¥ 696,149		

地域を支える安心システムへの取組事業
～成年後見人制度の普及・啓発・利用促進事業
「第二弾」～

認定NPO法人 東葛市民後見人の会

活動状況報告書

- 1 事業名称 地域を支える安心システムへの取組事業～成年後見制度の普及・啓発・利用促進事業「第二弾」～
- 2 実施主体 団体名：認定 NPO 法人東葛市民後見人の会
 従事者数：35 名
 団体概要：①成年後見制度の普及・啓発・利用促進事業を通して市民が市民を支える社会の実現を目指しています。
 ②ボランティア精神と社会貢献活動という理念のもとに集まった元気シニアや主婦などによる主体的・自発的な市民活動を行っています。
 ③地域コミュニティ後見プロジェクトとの連携、行政など公的機関との連携、地域密着の3つの原則のもとに活動しています。

3. 事業の実施内容

I 講演会の実施

日付	作業内容
4月2日	講演会を12月・市民劇場にて開催する計画を承認。会場予約6月
5月1日	開催候補日を12月7日(木)又は8日(金)とする
7月3日	講師(東京大学大学院牧野教授)及び会場の都合で、開催日を12月7日、会場を新松戸市民センターホールで開催することで決定
8月5日	講演会の開催要領(後援依頼先・広報等)の検討、参加者募集チラシ案の作成
9月4日	講演会の準備作業項目、スケジュール、役割分担など検討及び確認
10月2日	講演のタイトルを「ちいさな(社会)をたくさんつくる～超高齢社会を楽しく生きる～」とする。チラシ印刷6,000枚
10月15日	会場の下見、作業項目の確認
11月1日	会場設営について打ち合わせ
11月6日	チラシの配布状況及び配布の反応等確認
11月28日	プログラム、レジメ等を新松戸市民活動支援コーナーにて印刷
12月4日	開催にあたっての役割分担、準備作業項目など最終確認
12月7日	講演会の開催：116名の参加

II 講習会の実施

4月2日	・6月14日小金北部地区民生委員勉強会の開催 ・9月19日新松戸地区サンライトパストラル講習会の開催を計画
5月1日	小金北部地区民生委員勉強会の会場：馬橋東市民センターに決定 ・グループホームさざんか勉強会：6月22日に開催計画
5月8日	サンライトパストラル講習会開催の事前打ち合わせ

6月14日	小金北部地区民生委員勉強会の開催：参加者7名、馬橋東市民センター
6月22日	グループホームさざんか勉強会の開催：8名参加
7月18日	高木地区民生委員講習会打ち合わせ
8月7日	新松戸地区、中央パークハウス講習会(9/9)及び高木地区講習会開催計画
8月19日	中央パークハウス講習会開催事前打ち合わせ
9月9日	中央パークハウス講習会の開催：参加者60名・相談申し込み3名
9月19日	サンライトパストラル講習会の開催：参加者35名
12月9日	高木地区民生委員講習会開催：参加者30名 常盤平市民センター
1月16日	新松戸地区社会福祉協議会評議員等講習会事前打ち合わせ
3月3日	新松戸未来館にて開催：参加者34名

III 市民後見人養成講座の実施

4月2日	市民後見人養成講座の実施を支部会として決定。開催日数：4日間、会場：松戸商工会議所 開催時期：30年1月～2月了等 概略了承
10月18日	募集チラシの印刷：新松戸市民活動支援コーナーにて印刷、印刷4,000枚 募集締め切り1月10日
1月10日	募集締め切り：参加申し込み21名
1月20日	市民後見人養成講座開催（松戸支部にて5回目の開催）、1名家族介護の為キャンセル
2月3日	市民後見人養成講座2日目
2月10日	市民後見人養成講座3日目
2月17日	市民後見人養成講座4日目

IV 相談会の開催

	日時	場所	要援護者	相談概要
①	4月3日(月)	商工会議所小会議室	本人	・任意後見 ・老後の案内
②	5月1日(月)	商工会議所小会議室	母親	・特養への入所・生活支援
③	6月12日(月)	商工会議所小会議室	本人	・老後の安心
④	6月26日(月)	新松戸市民センター	母親及び本人	・老後の安心、相続
⑤	6月26日(月)	個人宅	義理妹	・法定後見
⑥	6月27日(火)	我孫子けやき10階	義理姉・甥	・松戸施設入居者
⑦	7月3日(月)	商工会議所小会議室	本人	・本人の現在の生活について (独居)
⑧	9月4日(月)	商工会議所小会議室	本人	①老後の安心 ②生活支援 ③任意後見
⑨	9月26日(火)	新松戸市民センター	本人	子供への相続の件

⑩	9月27日(水)	新松戸市民センター	本人	本人の今後の生活について
⑪	10月2日(月)	商工会議所小会議室	本人	本人の今後の生活について

4. 事業成果について

(1) 事業目的の達成について

* 講演会については下記の内容で実施しました。

講演会の開催概要

演題・講師	開催日時・会場	参加者等
「ちいさな(社会)をたくさんつくる～超高齢社会を楽しく生きる～」 講師：東京大学大学院教授 牧野 篤先生	平成 29 年 12 月 7 日 (木) 13 時 30 分～16 時 新松戸市民センターホール 後援：松戸市他東葛 5 市 松戸市社協他東葛 5 市社協 千葉県生涯大学校、松戸市教育委員会、さわやか福祉財団、江戸川大学、江戸川大学総合福祉専門学校、新松戸地区社協、新松戸地域包括支援センター、新松戸地区高齢者支援連絡会	参加者 116 名 アンケート回収 51 名 (44%) とても満足 23 名 (45%) 満足 24 名 (47%) やや不満足 3 名 (6%) やや不満足の内容 ・もう少し詳しく話して欲しかった。 ・映像の写り良くなかった ・話のテンポが速い等

上記の通り沢山の団体の後援を受け、特に開催場所の新松戸地区社会福祉協議会、新松戸地区高齢者支援連絡会、新松戸地域包括地支援センターの3団体にはチラシの配布、参加者の募集、声掛けなどでご協力いただきました。お陰様で116名の参加者を得ることができました。

参加者の多くは講演を聞いて「高齢者も積極的に地域社会に参加することが良い!」と感じられたようです。また当日の配布資料に「市民後見人養成講座募集」のチラシを加えたところ、2名の方から参加申し込みがありました。

さらに、新松戸地区の社協の役員から3月3日(土)に成年後見制度に関する講習会開催の申し入れがありました。

* 講習会については下記の概要で開催しました。

講習会の開催概要

	開催日時	共催団体	開催テーマ・参加者等
①	6月14日(水) 10時～12時	小金北部地区 民生委員	「成年後見制度と市民後見について」 馬橋東市民センター：参加者 7名
②	6月22日(木) 13時30分～15時	グループホーム さざんか	「老後の安心プラン～こんなことも準備できます!」参加者8名
③	9月9日(土) 10時30分～12時	中央パークハウス管理組合	「知っておきたい人生の終盤を支える制度」 参加者：60名 相談申し込み 3名

④	9月19日(火) 14時～15時30分	サンライトパストラル式番街高齢者支援会	「知っておきたいあなたを支える制度」～成年後見制度～ 参加者 35名。養成講座申込1名
⑤	12月9日(土) 11時～12時	高木地区民生委員協議会	「成年後見制度について」 参加者：30名 常盤平市民センター第一会議室
⑥	3月3日(土) 13時30分～15時	新松戸地区社会福祉協議会	「超高齢社会を支える成年後見制度」 新松戸未来館 参加者：34名

- ① の小金北部地区民生委員の講習会については民生委員の成年後見制度に関する理解を深めることができ、また民生委員と当会の親交を深めることができました。
- ② のグループホームさざんかにおける講習会は人数は少数でしたが、さざんかの職員、利用者の家族、及び施設近隣の方が参加し色々な意見交換をしながら成年後見制度の理解を深めることができました。
- ③ の新松戸中央パークにおける講習会は当初中央パーク役員から松戸市高齢者支援課に「老後から終活に」についての話の相談があり、高齢者支援課から当会に依頼があり、当会担当者が中央パーク役員と打ち合わせ。役員の希望、ニーズをヒヤリングし、新松戸地域包括支援センターの話も加え、中央パーク、新松戸地域包括支援センター、当会の3者による共同主催のような形式で開催したものです。お陰様で沢山の方に参加いただき、さらに3名の方から個別相談の申し込みがありました。
- ④ のサンライトパストラル式番街の講習会は昨年(29年)3月に開催した講演会の際に当該団体から開催の相談があり、今回実現したものです。35名の方に参加いただき、終了後1名の方から市民後見人養成講座への参加申し込みがありました。
- ⑤ の高木地区民生委員講習会につきましては当会からの申し出で開催してもらったものです。多忙な民生委員のスケジュールのなかですが、新任の民生委員も多く、重要な制度である「成年後見制度」については理解しておく必要があるとの地区役員の判断です。
- ⑥ 新松戸地区社会福祉協議会の講習会は12月開催の講演会で開催申し入れのあったものです。

何れの講習会も地域とのつながりを実感できる開催となってきており、今後具体的案件の相談、後見受任とつながっていくことを予感させる動きになって来ています。

* 市民後見人養成講座につきましては下記の概要で開催しました

市民後見人養成講座の開催概要

	開催日時・会場など	カリキュラム・実施内容など
①	1月20日(土) 9時15分～17時 商工会議所4階、中会議室	参加者：20名 オリエンテーション ・「成年後見制度と市民後見活動～成年後見制度の理念」：内部講師 ・「成年後見制度の法律の仕組」 「法定後見制度と任意後見制度について」：あすかフロンティア事務所司法書士宮田圭佑
②	2月3日(土) 9時～17時	・「認知症の正しい理解と対応の仕方」：旭神経内科リハビリテーション病院旭俊臣院長・「介護保険制度について」：松戸市介護保険課・「地域包括支援センターの役割」松戸市高齢者支援課 ・「介護の実際」：グループホームさざんか石本亜紀子施設長 ・「市民後見が後見制度の主役」市民が市民を支える社会：福祉ジャーナリスト浅川澄一

③	2月10日(土) 9時～17時	<ul style="list-style-type: none"> ・「障がい者の身上監護」：自立サポートネット流山理事長勝本正實 ・「日常生活自立支援事業と成年後見制度について」千葉県後見支援センター地域福祉推進部長川上浩嗣 ・「生活保護制度について」松戸市生活支援一課、二課 ・「高齢者と消費者被害について」松戸市消費生活センター ・「市民後見人の実際」内部講師
④	2月17日(土) 9時～17時	<ul style="list-style-type: none"> ・「財産管理と身上監護」茨城県成年後見センター代表鷲山俊男 ・「遺言と相続」、「エンディングノートについて」：内部講師 ・「後見事例検討会」：内部講師 ・修了証書授与

受講者は例年に比べ少ない参加となりましたが、例年に増して熱心な方が多く20名全員修了書を授与されました。また次のステップ「レベルアップ研修会」に16名(8割)の方が参加希望を持っており、また講座終了後、8名(4割)の方が当会に入会手続きをいたしました。

以上地域における関係他団体との連携による成年後見制度の普及・啓発・利用促進事業はほぼ当初の目標を達成することが出来たと考えています。

(2) 事業課題の解決について

講習会・勉強会への講師派遣要請、相談会への来談者の数など以前に比べると多数の声掛け、申し出があり、手ごたえを感じています。特に新松戸地区、小金原地区などで具体的な動きとなっています。今後も活動を継続的に実施していくことにより、必ず成果もあがって来るものと思っています。一方で、松戸市全体への活動、広がりからすればまだまだの感もあります。また具体的な案件(相談から受任申し立て)については相談件数も増え、具体的受任の申し立ての相談も受けていますが件数からすれば多いというほどではなく、もっと気楽に相談できる仕組みを検討していく必要性を感じています。

5. 今後の事業展開

- ① これまでの活動の成果として新松戸地区、小金原地区などの関係諸団体との連携も進み、具体的な案件での意見交換も可能になってきました。今後は連携をさらに深め個別具体的な案件についても係わり、地区のネットワークの一員として貢献できるように努めていきたいと考えています。さらに活動の地域も徐々に広めていきたいと考えています。
- ② 松戸市からの助成金援助は29年度が最終になりますが、スタート助成からご支援いただきお陰様で当会としましてはこの間、会員も200名(松戸支部は50名超)を超し、認定資格を取得し、家庭裁判所からも法定後見で20件を超す受任、任意後見契約でも5件の契約を行う団体となりました。これも助成金をいただき、また後援、講師派遣などご支援を戴き講演会、講習会、相談会、市民後見人養成講座を毎年継続的に開催し活動できたことによるものと深く感謝しております。
- ③ 今後はより個別具体的な案件への取り組み(個別案件についての相談、具体的な受任活動)に重点を移していき、地域の問題解決に努めていきたいと考えています。

収支決算書

【事業費収入額(収入)】

区分	科目	予算額	決算額	差引額	積算内訳
団体	団体拠出金	¥ 130,900	¥ 74,767	¥ 56,133	対象事業費の一部及び対象外経費を団体の会計より拠出
	事業収入	¥ 200,000	¥ 100,000	¥ 100,000	参加者20名×@5,000円=100,000円
	自己資金の合計額 (A)	¥ 330,900	¥ 174,767	¥ 156,133	
市	市民活動助成金 (B)	¥ 300,000	¥ 300,000	¥ 0	←精算額
合計額 (C) = (A+B)		¥ 630,900	¥ 474,767	¥ 156,133	

【事業費の支出額(支出)】

	科目	予算額	決算額	差引額	積算内訳
助成金の交付対象経費	報償費	¥ 180,000	¥ 160,000	¥ 20,000	市民後見人養成講座外部講師 7名分
		¥ 100,000	¥ 100,000	¥ 0	講演会講師謝礼
		¥ 80,000	¥ 0	¥ 80,000	講習会の開催について開催申し出が直前申し出が多く講師との日程調整が困難。設立後6年を経過し内部スタッフでも講師の対応可能となる
	印刷製本費	¥ 28,400	¥ 37,860	¥ ▲9,460	講演会募集チラシ外注 8,050円他
	消耗品費	¥ 27,200	¥ 5,803	¥ 21,397	養成講座参加者募集チラシ 講演会は外注 3,500枚
		¥ 32,000	¥ 13,004	¥ 18,996	レジメ用コピー用紙13,500枚、プリンターインク代2,180円
		¥ 5,000	¥ 7,307	¥ ▲2,307	封筒・4580円、クリップ、修了証書1,539円他
	使用料及び賃借料	¥ 119,600	¥ 97,760	¥ 21,840	会場使用料
	通信運搬費	¥ 34,500	¥ 5,709	¥ 28,791	市民後見人養成講座チラシ 講演会チラシDMは取止め、地元団体を通じた募集に注力 送付、講師プログラム送付
		¥ 606,700	¥ 427,443	¥ 179,257	
(その他経費)	報償費	¥ 20,000	¥ 34,000	¥ ▲14,000	養成講座：内部講師
	講師飲食費	¥ 4,200	¥ 2,524	¥ 1,676	講師弁当代及び飲料費
	広告宣伝費	¥ 0	¥ 10,800	¥ ▲10,800	養成講座広告(月刊新松戸)
	その他経費の合計額 (E)	¥ 24,200	¥ 47,324	¥ ▲23,124	
合計額 (F) = (D+E)		¥ 630,900	¥ 474,767	¥ 156,133	

【チェック項目】

- 1 助成金 (B) が、対象となる経費 (D) 欄の90%以内であること。
- 2 自己資金 (A) 欄が、「対象経費 (D) 欄の10%以上」であること。
- 3 助成金 (B) が、スタート助成の場合は1事業あたり10万円以内、ステップアップ助成の場合は1事業あたり30万円以内であること。
- 4 対象経費については、必ず証拠書類を添付すること。

精算額	¥ -
-----	-----

団体名 認定NPO法人東葛市民後見人の会

代表者氏名 理事長 星野征朗

収支内訳書

【事業費の収入額】

科目		金額	内訳	摘要
団体	団体拠出金	¥ 74,767		対象事業の一部及び対象外経費を団体の会計より拠出
	事業収入	¥ 100,000	5,000円*20人	市民後見人養成講座参加者20名
市	市民活動助成金	¥ 300,000		
合計額		¥ 474,767		

【事業費の支出額】

科目		金額	支出内訳	説明事項（用途など）
助成金の交付対象経費	報償費	¥ 160,000	講義時間：約14時間*11400円	市民後見人養成講座外部講師：7名
	報償費	¥ 100,000		講演会外部講師：牧野篤氏
	報償費	¥ 0		講習会の開催について開催申し出が直前申し出が多く講師との日程調整が困難。設立後6年を経過し内部スタッフでも講師の対応可能となる
	印刷製本費	¥ 37,860	講演会チラシ・レジメ、養成講座チラシ・レジメ他	講演会チラシ外部印刷：8,050円、横断幕印刷：6,820円 養成講座チラシ・レジメ：16,865円、講習会・相談会レジメ：6,125円
	消耗品費	¥ 26,114	講演会レジメ、養成講座チラシ・レジメ講習会レジメ	コピー用紙：講演会：5,500枚、養成講座チラシ：3,500枚、レジメ6,500枚、講習会：1500枚 プリンターインク代
	使用料	¥ 97,760	市民後見人養成講座：69,580円、相談会：28,180円	後見人養成講座：松戸商工会議所中会議室4日間、相談会：松戸商工会議所 小会議室4回、及び新松戸市民センター2回使用
	通信費	¥ 5,709	養成講座チラシ送付：39先（施設・マンション含む）	市民後見人養成講座チラシ・プログラム送付
	対象経費の合計	¥ 427,443		
その他経費	報償費	¥ 34,000	内部講師6名	市民後見人養成講座内部講師
	講師飲食費	¥ 2,524	飲料：1687円	弁当：837円
	広告宣伝費	¥ 10,800	広告料（養成講座）	月刊新松戸広告料10,800円
	その他経費の合計	¥ 47,324		
合計額		¥ 474,767		